

講義科目名称： 教育学

授業コード： 4N001

英文科目名称： Education

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
高野 利雄			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 人間の活動としての教育 教育とは何か 人間は教育によって何を達成しようとしているのか 第2回 学習権という人権 義務教育 教育の機会均等 子どもの権利条約 第3回 教育活動の時と場 人間の成長と発達課題 家庭・学校・社会での教育と学習 第4回 学校教育の柱と方法 学習指導要領 教科と特別活動 生徒指導提要 第5回 道徳教育とその位置づけ 特別の教科道徳の開始 道徳をどうとらえるか 第6回 学校教育現場の諸問題 いじめ 不登校 学級崩壊 第7回 教育活動の土台となる信頼関係 良好なコミュニケーション ゴードンメソッド 第8回 さまざまな学習形態 アクティブラーニング シチズンシップエデュケーション 第9回 キャリア教育 自らを生きる・生かす学び 第10回 障害児教育 特別支援教育の考え方と実状 インクルーシブ教育 第11回 家族の変化と教育 貧困格差と教育の課題 虐待への対応 第12回 チームとしての学校 学校保健 スクールカウンセラー スクールソーシャルワーカー 第13回 社会教育と生涯学習 学校以外の学習の場 自分はどこまで学び続けるか 第14回 教育に関する法と制度 福祉 医療 教育の連携 第15回 人生を支える学力とは	高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野
科目の目的	教育活動についての学びを通して、看護・医療の対人援助職に必要な教育者の素養を身につける。 【看護職としての態度】	
到達目標	教育の役割を理解し、対人援助職を目指す自らのありようを述べられること。	
関連科目	心理学、教育心理学	
成績評価方法・基準	試験（60％）、随時の提出物と授業への取り組み（40％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回の資料を熟読し、理解して備えること。1コマあたり4時間を目安とする。	
教科書・参考書	教科書・・・使用しない 参考書・・・講義時に紹介する	
オフィス・アワー	講義の前後	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
榎本 光邦			

授業形態	講義（14コマ）、演習（1コマ）。講義中、随時10分程度の小演習（個別・グループ）も取り入れる。		担当者
授業計画	第1回	<p>心理学の歴史と方法 本講義のテーマ、講義の展開予定、受講上の注意などについて説明をする。また、心理学の歴史と研究方法について学び、本講義の到達目標について展望する。 key words：哲学における心理学、実験心理学の始まり（ヴェント）、ヴェント批判（ゲシュタルト心理学、行動主義、精神分析）</p>	榎本光邦
	第2回	<p>脳と心理学 脳科学と心理学は密接な関係にある。本講義では、心の働きの基盤となる脳と神経の基礎的な仕組みと働きについて学習する。 key words：人間の脳の構造、脳の働き、高次脳機能障害</p>	榎本光邦
	第3回	<p>心の発達 年齢によって人間の一生を大まかに分け、それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当てて、これらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野は「発達心理学」とよばれている。本講義では人間の発達の諸側面、子どもの認知発達について学ぶ。 key words：こどもの認知発達（ピアジェ）、こどもの社会性の発達、生涯発達心理学、知的能力障害</p>	榎本光邦
	第4回	<p>感覚と知覚 人間が外界に適応した行動をとるためには、外界を理解する必要がある。本講義では、我々が外界の情報を受容し、それを利用する手段である感覚と知覚について学ぶ。 key words：感覚、知覚的な体制化、奥行き知覚と知覚の恒常性、錯覚、運動の知覚</p>	榎本光邦
	第5回	<p>学習 一般に学習というと、学校における教科学習を想像するが、心理学において学習とは「経験によって生ずる行動の変容」と定義される。本講義では、行動主義が提唱した学習原理と、社会的学習理論を概観する。 key words：古典的（レスポデント）条件づけ（パブロフ）、オペラント条件づけ（スキナー）、社会的学習理論（バンデューラ）</p>	榎本光邦
	第6回	<p>記憶と思考 感覚・知覚によって入力されてきた情報は、私たちが環境に適応するために使用される。そのためには、情報を効率的に貯蔵し、この使用の方法についての戦略が必要になる。心理学では前者の課程を「記憶」と呼び、後者の課程を「思考」とよぶ。本講義では、人間の記憶と思考の仕組みについて学習する。 key words：記憶のしくみ、記憶の二重貯蔵モデル、問題解決と意思決定、推論</p>	榎本光邦
	第7回	<p>動機づけと情動 人の行動は多様であるが、それぞれの行動には、その行動と結びついた特定の原因があると考えられる。例えば、Aさんが勉強を中断して夜食を食べたのは「空腹だったから」であろうし、また、恋人と別れてBさんが泣いたのは「悲しかったから」であろう。行動の原因と考えられるもののうち、前者のグループは「動機づけ」とよばれ、後者のグループは「情動」とよばれる。本講義では、人間の動機づけと情動について理解を深める。 key words：動機づけと欲求、マズローの欲求階層モデル、感情・情動、表出行動とコミュニケーション、動機づけと情動の病理</p>	榎本光邦
	第8回	<p>性格 私たちはそれぞれ、他の人とは違うその人らしい考え方、感じ方、そして行動の仕方（行動様式）を持っている。このような考え方や行動の仕方は、状況の変化にも関わらず、時や場所を越えて、比較的一貫し、安定している。このことから、私たちに、このような個人の独自性と統一性をもたらすものが存在すると考えられ、それは「性格」とよばれる。本講義では性格の代表的な理論である「類型論」と「特性論」や性格の5因子モデルについて学ぶ。講義の後半では、臨床の現場で用いられる性格検査を体験する。 key words：類型論、特性論、性格の5因子モデル、性格検査の信頼性と妥当性</p>	榎本光邦

	<p>第9回 対人関係と集団 人は生きていく中で、様々な他者と出会い、交流しながら関係を築いていく。人間は本質的に一人では生きていくことのできない存在だからである。しかし、他者とともにあることは、人生を豊かにする半面、様々な苦悩の源泉ともなる。本講義では、私たちが他者をどのようにとらえ、関わっているか、他者からどのような影響を受けているかを学習する。 key words : 対人認知, 対人感情, 関係の維持</p> <p>第10回 臨床心理学(1) 精神分析 精神分析とは、オーストリアの神経学者フロイトによって創始された人間の心を研究する方法であり、理論であり、精神疾患や不適応の治療法である。本講義では、心理療法としての精神分析を中心に、その基本概念について学習する。 key words : 意識, 前意識, 無意識, エス(イド), 自我, 超自我, エディプス・コンプレックス</p> <p>第11回 臨床心理学(2) 分析心理学 分析心理学はスイスの精神医学者カール・グスタフ・ユングによって創始された心理学・心理療法であり、一般にユング心理学として知られている。ユングは当初フロイトから強い影響を受けたが、その理論の違いからフロイトと決別することになる。本講義では、フロイトの理論との比較を通してユングの理論について理解を深める。 key words : 個人的無意識, 普遍的無意識, 元型, 症状の持つ意味, 夢分析</p> <p>第12回 臨床心理学(3) クライアント中心療法 カール・ロジャースは20世紀アメリカを代表する心理学者の1人である。ロジャースは人間の本質を善ととらえる人間観に基づき、人間の成長力、主体性を重視し、心理療法を「クライアント中心」に進めていくという大きな変革をもたらした。本講義ではロジャースの生涯をたどり、その理論の変遷について理解する。 key words : クライアント中心療法, パーソン・センタード, 静かなる革命, 受容, 共感, 自己一致, 建設的なパーソナリティ変化が生じるための必要かつ十分な条件</p> <p>第13回 臨床心理学(4) 心理療法1 心理療法とは、「心の問題」に対する心理学の知見を用いた援助である。本講義では、行動療法, 認知行動療法について学習する。 key words : 心理療法行動療法, 認知行動療法</p> <p>第14回 臨床心理学(5) 心理療法2 コラージュ療法演習 本講義では、心理療法の中でも「表現療法」とよばれるものについて学習し、その中でも「芸術療法」とよばれるものの一つである「コラージュ療法」について体験する。 key words : 表現療法, 芸術療法, コラージュ療法</p> <p>第15回 臨床心理学(6) 心理療法3 箱庭療法 箱庭療法はローエンフェルトによって考案され、その後、カルフがユングの考えを導入して発展させ、河合隼雄によって我が国へ導入され、さらに世界中に広がった技法である。本講義では、箱庭療法の分析方法を紹介し、それを応用し、自らが作成したコラージュについて検討を行う。 key words : コラージュ療法, 箱庭療法, 空間象徴</p>	榎本光邦 榎本光邦 榎本光邦 榎本光邦 榎本光邦 榎本光邦 榎本光邦
科目の目的	<p>心理学を学ぶことにより、社会を見つめる感性や現代を生きる人間としての生き方について考える力を養う。自己および他者への理解を深め、社会の中で適応的に生活するために必要な心理学の知識を身に付けることを目的とする。</p> <p>ディプロマポリシー：【看護職としての態度】【対象の理解】</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学の概要を理解し、国家試験対策の基礎を形成する。 2. 心理学理論による人間理解を深めるとともに自分について振り返る。 3. 心理学的援助の概要と方法について理解し、自らの専門分野に活かす。 	
関連科目	<p>【教養・共通基盤科目群】教育学, 教育心理学, 生命倫理, 哲学, 人間と宗教, 社会学, 生活文化と医療, 大学の学び入門, 大学の学び-専門への誘い-, 多職種理解と連携</p> <p>【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ, 発達心理学, 臨床心理学, 公衆衛生学, 保健統計, カウンセリング</p> <p>【専門科目群】全科目</p>	
成績評価方法・基準	<p>定期試験(レポート形式・70%)に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価(30%)を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について、1時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。</p> <p>講義資料は、概ね講義の1週間前までにActive Academyにて配布するので、各自ダウンロードしておくこと。</p>	
教科書・参考書	<p>【教科書】 山祐嗣・山口素子・小林知博編著(2009)「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」北大路書房</p>	
オフィス・アワー	<p>月・水・木・金の昼休み(1号館3階305研究室)</p>	
国家試験出題基準	<p>【看護師】 ≪必修問題≫ Ⅱ-6-a, b</p>	

履修条件・履修上の注意	講義中の私語，スマートフォン・携帯電話の使用，講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や，それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ，その回の講義の出席を認めない場合もあります。
-------------	--

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
榎本 光邦			

授業形態	講義を中心とし、必要に応じて随時小演習（個別およびグループ）を取り入れる。		担当者
授業計画	第1回	教育心理学とは 教育心理学は「発達」「学習」「人格と適応」「教育評価」などの幅広い分野を含む、教育のための心理学である。本講義では、教育心理学の歴史と概要を学ぶ。	榎本光邦
	第2回	子どもの認知発達 ピアジェの理論を参照しながら人の認知発達について学び、認知発達の過程を通して幼児期、児童期、青年期に対する教育的関わり方の違いや、学校教育について考える。 key words：感覚運動期、前操作期、具体的操作期、形式的操作期、心の理論	榎本光邦
	第3回	神経発達症／神経発達障害（1） 平成19年に全国で特別支援教育が開始され、ここ数年で発達障害に対する理解が急速に広まりつつある。本講義では3つの代表的な発達障害の中からAD/HD・SLDの2つと、発達障害とは区別される知的能力障害（知的発達症／知的発達障害）の特徴と支援について学び、理解を深める。 key words：発達障害、AD/HD、SLD、知的能力障害（知的発達症／知的発達障害）、特別支援教育	榎本光邦
	第4回	神経発達症／神経発達障害（2） 前回に続き、発達障害について学習する。本講義では3つの代表的な発達障害の最後の1つである自閉スペクトラム症の歴史と特徴について学び、DSM-IV-TRとDSM-5の診断の基準の違いについて理解を深める。 key words：自閉スペクトラム症、DSM-IV-TR、DSM-5、特別支援教育	榎本光邦
	第5回	子どもの認知発達と太田ステージ（1） 太田ステージとは、ピアジェの発達理論を参考に、子どもの発達段階をとらえやすくするために、いくつかの発達の節目をとらえてステージ分けしたものである。本講義では生まれて間もなくから1歳半くらいまでの乳幼児期に相当するStage Iの特徴と療育について学習する。 key words：太田ステージ、Stage I、模倣、指さし、おもちゃ遊び	榎本光邦
	第6回	子どもの認知発達と太田ステージ（2） 一般的な子どもの発達で見ると、1歳半から2歳くらいに相当するStage II、物には名前があることがはっきりとわかるようになった段階だが、関係の中で物事をとらえることができず、思考の柔軟性がないStage III-1の特徴と療育について学習する。 key words：シンボル機能の芽生え、名称による物の指示、用途による物の指示、経験に沿ったパターン	榎本光邦
	第7回	子どもの認知発達と太田ステージ（3） 一般的な子どもの発達で見ると、3歳から4歳くらいに相当するStage III-2、5歳から7歳くらいに相当するStage IVの特徴と療育について学習する。 key words：概念形成の芽生え、大小比較、上下の空間関係、因果関係の理解	榎本光邦
	第8回	学ぶことと考えること 「学ぶ」ということは、新しい概念がそれまで持っていた知識のネットワークの中に組み込まれ、知識がより構造化していくことである。本講義では知識を活用し、問題を解決していく方略について学習する。 key words：宣言的知識、手続き的知識、アルゴリズム、ヒューリスティック、メタ認知	榎本光邦
	第9回	「やる気」を考える 何か一つのことを頑張る、最後までやり遂げるということは人にとって嬉しいことである。では、人はどんな時に最も頑張るのであろうか？逆に、どのような時に一生懸命やろうという気持ちが無くなってしまおうのだろうか？本講義では、「達成動機づけ」と呼ばれる問題に関して、いくつかの考え方を学習する。 key words：期待一価値モデル、学習性無力感、原因帰属、内発的動機づけ、外発的動機づけ、アンダーマイニング効果	榎本光邦
	第10回	学級という社会 人が最初に経験する「学校」という組織の特殊性とそこで起こる心理的事象について学ぶ。 key words：ピグマリオン効果、P-M理論、ソシオメトリックテスト、ゲス-フーテスト	榎本光邦

	<p>第11回 どのように教えるか 学習指導の形態は一斉学習、グループ学習、個別学習に大別され、いくつかの形態が組み合わされて実施されることが多い。また、教授法には発見学習と受容学習という対照的な2つの方法がある。本講義ではこれらの教授法の他、いくつかの特徴的な指導形態についても学習する。 key words：機械的学習、有意義学習、ジグソー学習、プログラム学習、適正処遇 交互作用</p>	榎本光邦
	<p>第12回 児童・生徒をどう評価するか 教育評価は、児童・生徒の理解度や意欲の程度を知るのに役立つだけでなく、授業で取り扱った内容の適切さや教師の授業方法の適切さを判断することにも役立つ。本講義では、教育評価の目的や機能、方法について学習し、教育評価に関する理解を深める。 key words：絶対評価、相対評価、偏差値、診断的評価、総括的評価、形成的評価</p>	榎本光邦
	<p>第13回 知能とその測定 知能とは、目的的に行動し、合理的に行動し、環境を能率的に処理する総合的な能力である。知能に関する理論とその測定方法について学習する。 key words：CHC理論、田中ビネーV、WISC-IV、WAIS-IV</p>	榎本光邦
	<p>第14回 教育相談 子どもたちの健全な成長・発達の支援を目的とする、乳幼児期から青年期までを対象とした、教育の一環としての相談援助活動である教育相談について、事例を通して学習する。 key words：教育相談、カウンセリング</p>	榎本光邦
	<p>第15回 教育心理学の意義 これまでの講義を概観して教育心理学的な関わりや考え方について理解を深める。教育や他者との関わりについて考えていく。</p>	榎本光邦
科目の目的	<p>教育心理学は「発達」「学習」「人格と適応」「教育評価」などの幅広い分野を含む、教育のための心理学である。本講義では幼児、児童および生徒を教師が効果的に支援するために必要な心身の発達および学習の過程に関する基本事項を心理学的な観点から理解することを目的とし、教育心理学の基礎的な知識を学ぶ。</p> <p>ディプロマポリシー：【看護職としての態度】【対象の理解】</p>	
到達目標	<p>1. 教育心理学の基本的な知識を習得する。 2. 幼児、児童および生徒の心身の発達および学習の過程に関する基本事項を心理学的な観点から理解する。 3. 教育実践についての見解を深め、自分の意見を論じることができる。</p>	
関連科目	<p>【教養・共通基盤科目群】心理学、教育学、生命倫理、哲学、人間と宗教、社会学、生活文化と医療、大学の学び入門、大学の学び—専門への誘い—、多職種理解と連携 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ、発達心理学、臨床心理学、公衆衛生学、保健統計、カウンセリング 【専門科目群】全科目</p>	
成績評価方法・基準	<p>定期試験（レポート形式・50%）に毎回の講義後に作成する小レポートの評価（50%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>1年次選択科目「心理学」受講者は、教科書第3章「こころの発達」、第5章「学習」の内容をよく理解しておくこと。 その他、準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について、1時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。 講義資料は、概ね講義の1週間前までにActive Academyにて配布するので、各自ダウンロードしておくこと。</p>	
教科書・参考書	<p>【教科書】 鎌原雅彦・竹綱誠一郎（2015）「やさしい教育心理学 第5版」有斐閣アルマ</p> <p>【参考書】 永井洋子・太田昌孝編（2011）「太田ステージによる自閉症療育の宝石箱」日本文化科学社 山祐嗣・山口素子・小林知博編著（2009）「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」北大路書房</p>	
オフィス・アワー	<p>月・水・木・金の昼休み（1号館3階305研究室）</p>	
国家試験出題基準	<p>なし</p>	
履修条件・履修上の注意	<p>講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や、それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ、その回の講義の出席を認めない場合もあります。</p>	

講義科目名称：健康スポーツ理論

授業コード：4N004

英文科目名称：Sports Science

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
岩城 翔平			

授業形態	講義（12回）・演習（3回）	担当者
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション・目標の設定と達成 受講のルール説明、全15回の流れを解説。自身の大学生活についてのアフターセッションを行い、準備学習の課題を設定する。</p> <p>第2回 健康とスポーツの関わり 健康とは、スポーツとは何かを改めて考える。身近なスポーツ環境について学ぶ。</p> <p>第3回 運動・スポーツを通じたコミュニケーション アリーナでミニ運動会を行う。心と身体の健康と運動・スポーツのつながりについて体感し、考察する。</p> <p>第4回 生涯を通じた運動・スポーツの実践 人生100年時代に自身の健康とどのように向き合っていくのか検討し、仲間たちと協議する。今後の自身の健康と運動・スポーツの関係について考える。</p> <p>第5回 トレーニングの基本理論① 筋収縮の様式やトレーニングの代表的手法について学ぶ。</p> <p>第6回 トレーニングの基本理論② 代表的なトレーニングのバリエーションを学び、体験する。例えば誰しも一度はしたことのある腕立伏せや腹筋にも様々な狙いや意義があることを知る。</p> <p>第7回 トレーニングと栄養 トレーニング効果を十分に得るために摂取すべき栄養素や摂取方法について学ぶ。</p> <p>第8回 ウェイトトレーニングの効果と方法論 バーベルやダンベルを用いた代表的なトレーニングの効果と方法を学ぶ。</p> <p>第9回 トレーニング計画の策定 班活動を行う。それぞれ設定された対象に対して、どのような運動処方をするべきかについて班で協議し、トレーニングプログラムを作成する。</p> <p>第10回 トレーニングプログラムのプレゼンテーション① 第9回で作成したトレーニングプログラムを用いて、設定した対象に向けた運動処方の班別プレゼンテーションを行う。</p> <p>第11回 コーチングの基本理論 コーチングの基本的な理論を学ぶ。前回の発表内容を互いに評価し合い、プレゼンテーションの内容を見直す。</p> <p>第12回 トレーニングプログラムのプレゼンテーション② 第11回で見直し、改善したトレーニングプログラムの班別プレゼンテーションを実施する。班別プレゼンテーションは演習の成績評価に該当する。</p> <p>第13回 心の健康・試験説明 心の健康と社会生活におけるコミュニケーション能力の関係について考え、実践する。試験の内容等について説明する。</p> <p>第14回 講義内容の振り返り・授業内試験実施 これまでの講義を振り返り、要点を解説する。授業内試験は試験の成績評価に該当する。</p> <p>第15回 試験結果のフィードバック、まとめ 試験の結果についてフィードバックする。本講義で得られた成果を今後どのように生活へ役立てるのかを改めて考え、自身の健康とスポーツのかかわりについて具体的にイメージする。</p>	<p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p>
科目の目的	<p>高等学校保健体育において、「生涯にわたり豊かなスポーツライフを継続し、スポーツとの多様な関わり方を状況に応じて選択し、卒業後も継続して実践することができる」素養を身に付けているものとしたときに、高等教育においてはそれを指導したり、自ら組み立てたりするなど健康・スポーツに関する活動を提供する側に回ることができる教養を身に付けるべきである。医療従事者を志す学生として、自身の心身の健康を保持増進することはもとより、家族や仲間、患者、地域社会にも配慮し、健康で豊かな生活を送るサポートができるよう、より実践的な理論を中心に仲間とコミュニケーションをとりながら学んでゆく。本講義内で健康とスポーツに関連する取り組みをとおり、保健医療分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる能力を養う。 【看護職としての態度】</p>	

到達目標	<p>【心身の健康と様々なスポーツの関わりについて考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で接する仲間と上手にコミュニケーションが取れるようになる。 ・生涯にわたる健康は自発的な活動により得られることを理解し、さらに自らが発信者となることで周囲の人々へ健康に関する最新の知見を与えられるようになる。 ・身体運動の基本的な理論を理解し、様々なトレーニングが身体に及ぼす影響について考察できるようになる。 ・受ける側から与える側への転換期であることを理解し、様々な学習に対し自律して取り組む必要性を学ぶ。
関連科目	健康スポーツ実技
成績評価方法・基準	<p>演習（35％）：トレーニングの基礎基本について理解があるか、また、発信者として適切な表現方法でプレゼンできているかどうかを、班別プレゼンテーション内で評価する。</p> <p>試験（65％）：これまでの講義内容について理解できているかを測る授業内試験を行う。</p>
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>1日の中で5分間程度、授業中に作成した目標シートを何度も読み返す。</p> <p>また、学習したトレーニングについて1週間に計40分程度実践し、運動への理解を深める。</p>
教科書・参考書	<p>教科書使用せず。</p> <p>[参考書]</p> <p>「生涯スポーツ実践論：第4版」川西正志・野川春夫 編著 市村出版</p> <p>「NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識」日本語版総監修 森谷敏夫、監修 岡田純一</p> <p>※非常に高価、購入必要無。</p>
オフィス・アワー	講義室または体育棟管理室にて、講義の前後。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	<p>数回、運動することがある。</p> <p>その際は運動するのに適したスタイルで参加すること。</p> <p>※養護教諭2種免許取得を希望する者は履修すること。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
岩城 翔平			

授業形態	実技	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション・からだづくり運動 受講のルール説明、学生自己紹介カードの作成、全15回の流れについて解説。軽強度のエアロビクトレーニングを行い、今後の授業に向けて身体を慣れさせる。	岩城 翔平
	第2回 班編成・安全なスクワットの習得・球技（バレーボール①） HIITトレーニング、班と班長の決定、アイスブレイキング 安全なスクワットの習得、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第3回 第1回「新体力テスト+」実施 新体力テストの種目を若干変更したものを実施する。種目：20m走、立ち幅跳び、反復横跳び、ボール投げ（男子：バスケットボール、女子：ハンドボール）、上体起こし、プッシュアップ、握力、背筋力、長座体前屈	岩城 翔平
	第4回 班別ミーティング、球技（バレーボール②） アイスブレイキング、班別ミーティング、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第5回 班別トレーニング①、球技（バレーボール③） アイスブレイキング、班別トレーニング、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第6回 班別トレーニング②、球技（バドミントン①） アイスブレイキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第7回 班別トレーニング③、球技（バドミントン②） アイスブレイキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第8回 班別トレーニング④、球技（バドミントン③） アイスブレイキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第9回 班別トレーニング⑤、球技（タグラグビー導入） 班別トレーニング、タグを使ったアイスブレイキング、タグに慣れる、ボールに慣れる、ボールハンドリング、効果的なアタックの方法、ディフェンスの方法、ルールの確認	岩城 翔平
	第10回 班別トレーニング⑥、球技（タグラグビー①） タグを使ったアイスブレイキング、班別トレーニング、タグラグビー	岩城 翔平
	第11回 班別トレーニング⑦、球技（タグラグビー②） タグを使ったアイスブレイキング、班別トレーニング、タグラグビー	岩城 翔平
	第12回 班別トレーニング⑧、球技（タグラグビー③） タグを使ったアイスブレイキング、班別トレーニング、タグラグビー	岩城 翔平
	第13回 班別トレーニング⑨、球技（タグラグビー④） タグを使ったアイスブレイキング、班別トレーニング、タグラグビー	岩城 翔平
	第14回 第2回「新体力テスト+」実施 新体力テストの種目を若干変更したものを実施する。種目：20m走、立ち幅跳び、反復横跳び、ボール投げ（男子：バスケットボール、女子：ハンドボール）、上体起こし、プッシュアップ、握力、背筋力、長座体前屈 【班制作物提出】	岩城 翔平
	第15回 「新体力テスト+」結果フィードバック、球技 体力テスト結果をフィードバックする。 全体のまとめ、リクエスト球技を実施する。	岩城 翔平
科目の目的	心身の健康の保持増進や回復とスポーツとの関連性を鑑み、自重で行う基本的なトレーニングや、スポーツ活動の企画実践を試みる。本講義では特に社会生活で必要不可欠である心の健康を司る人材となるべく、スポーツ活動における他者への気配りやコミュニケーション能力の向上を重要なテーマの一つとする。 [スポーツを通じた協調性の獲得] 例えば運動能力レベルが異なる集団であっても、寛容さがあれば誰もが積極的にスポーツを楽しむ和を作ることができる。より相手に根差した協調性を意識することで、大学生活だけでなく社会生活においても大切な立ち振る舞い方を醸成する。 [体力向上方法の理解と実践] 自身の体力課題を見極め、班で協力し課題に応じたトレーニングを継続して実施することにより、運動経験がない者でも体力を向上させる達成感を味わうことができるようにする。運動経験がある者においては他者へのアドバイスを通じて、自己の考えを他者へ正確に伝える表現方法を学ぶ。 【看護職としての態度】	
到達目標	【運動、スポーツを通じて心身の健康について考える】 ・他者を観察し、その心情を察し思いやることを心掛ける（心のトレーニング）。 ・スポーツ参加者全員が楽しめる場や空気の作り方を考え、学ぶ（心のトレーニング）。	

	・自身の体力的課題に対して計画的にアプローチし、克服することで、運動習慣が身体機能にもたらす効果を実感する（身体のトレーニング）。
関連科目	健康スポーツ理論
成績評価方法・基準	班活動および制作物の提出（60%）：積極的にコミュニケーションを取り活動に取り組んでいるかどうか。 第2回体力テスト結果（30%）：課題として設定した項目のスコアが伸びているかどうか。 準備学習の実施状況（10%）：設定した課題に取り組んだかどうか。 球技の実力の多寡で成績評価はしない。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	第3回の授業で実施する体力テストの結果を参考に、改善したい体力項目に適したトレーニングやストレッチなどを自宅で実施する。1週間に45分程度。
教科書・参考書	教科書無し。 [参考書] 「NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識 第2版」日本語版総監修 森谷敏夫、監修 岡田純一 NSCAジャパン ※非常に高価、購入必要無。
オフィス・アワー	授業の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	スポーツウェア・内履き・タオルが必要。それぞれ高校で使用していたもので可。 明らかに運動に適していない服装、外履きでの参加は認めない。 蓋付きの飲み物のみ持ち込み可。 怪我予防のためピアス・ネックレス等装飾品は外して臨む。 ※養護教諭2種免許取得を目指す学生は履修必要。

講義科目名称： 現代文学

授業コード： 4N006

英文科目名称： Modern Literature

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
徳本 善彦			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 ガイダンス：「文学」とは何か 日本の近代化と「文学」について歴史的観点から学ぶ。</p> <p>第2回 文学テキストを（読む） 文学作品をテキストとして読む方法について、実践例を通して学ぶ。</p> <p>第3回 寺田寅彦「団栗」を読む 「写実」的な作品を通して、小説世界の時間・空間を整理し小説を立体的に読む。</p> <p>第4回 志賀直哉「焚火」を読む テキストをじっくり読むことで、物語（ストーリー）に頼らない小説の読み方を学ぶ。</p> <p>第5回 芥川龍之介「トロッコ」を読む 小説の物語的要素を捉え、小説世界の構造を理解する。</p> <p>第6回 群馬県の作家：萩原朔太郎の詩を読む 日本の近代詩に多大な影響を与えた萩原朔太郎の詩を鑑賞する。</p> <p>第7回 川端康成「葬式の名人」を読む 小説に書かれた、言葉の身体／身体という言葉について考える。</p> <p>第8回 小レポート：矢田津世子「茶粥の記」 矢田津世子「茶粥の記」を事前に読んだ上で、授業内小レポートに取り組む。</p> <p>第9回 解説：矢田津世子「茶粥の記」を読む 小レポートの講評と、課題小説の読解の一例を解説する。</p> <p>第10回 上林暁「花の精」を読む 私小説のテキストを吟味し、細かなモチーフに注目して小説を読む方法を学ぶ。</p> <p>第11回 坂口安吾「真珠」を読む 戦争と文学について、歴史的事実が物語として受容される過程を読み解く。</p> <p>第12回 井伏鱒二「遥拝隊長」を読む 終わらない戦争を生きる人物を通して、戦争と記憶について考える。</p> <p>第13回 現代詩を読む 『荒地』や『櫛』といった戦後の現代詩誌を中心に現代詩について学ぶ。</p> <p>第14回 石牟礼道子「死民たちの春」を読む 経済成長と公害、東京と地方など戦後社会の問題を文学を通して考える。</p> <p>第15回 村上春樹「アイロンのある風景」を読む とらえようのないものを比喩を通して語ること、災害と文学について考える。</p>	徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦
科目の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文学作品を読み、不明な事柄を調べることで当時の時代状況や社会問題などを理解する。 2. テキストの中に問題を見出すことを通して、深く考えることで筋道の通った読解を見出す。 3. 小レポートの作成を通して、自分の考察を論理的に表現する力を身につける。【看護職としての態度】 	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文学作品の書かれた当時の時代状況からの視点を体験することで、読む視点の複数性を理解する。 2. テキストの中に問題を見出すことを通して、情報を批判的に評価する読解力を養う。 3. 小レポート・期末レポートの作成に取り組むことで、自分の意見を客観的・論理的に表現する技術を身につける。 	
関連科目	芸術・哲学・社会学	
成績評価方法・基準	授業内小レポート（50%）、期末レポート（50%）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前＝講義で使用するテキストを読み問題を整理する。（1.0時間） ・授業後＝授業内容の復習。（0.5時間） 	
教科書・参考書	教科書：使用しない（講義資料は1週間前を目処にActive Academyを通して配布します。各自で印刷して授業に持参して下さい）。	
オフィス・アワー	授業の前後（非常勤講師室）。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 人間と宗教

授業コード： 4N007

英文科目名称： Human Beings and Religion

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
竹村 一男			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 宗教を学ぶにあたって 宗教を学ための必要な基礎的事項について説明する。講義の前半は宗教の種類、宗教の研究分野、そして、3大宗教について、その概要と現状に言及する。後半は芸術作品や世界遺産の中から宗教に関する画像を中心に紹介する。</p>	竹村 一男
	<p>第2回 宗教本質論 宗教とは何か 過去から現在に至る哲学、神学、心理学などの代表的な思想、及び昨今の脳科学は、宗教をどのように解釈してきたかを解説する。更に、最も難解なテーマである「宗教とは何か」について考えてみたい。</p>	竹村 一男
	<p>第3回 キリスト教概説 世界最多の宗教人口をもつキリスト教の教義と歴史、現状について講述する。また、その文化・歴史など画像を交え説明する。特に新約聖書、福音書の解説については、ジョットの絵画による概要説明を行う。</p>	竹村 一男
	<p>第4回 イスラム教概説 イスラム教の教義と歴史、現状について講述する。その文化・歴史など画像を交え説明する。コーランの記述内容、スンニ派とシーア派の相違点、更に昨今の国際情勢におけるイスラームなどその現状にも言及する。</p>	竹村 一男
	<p>第5回 仏教概説 仏教の教義と歴史、現状について講述し、その文化・歴史や伝播の経緯など画像を交え説明する。インドにおける仏教の成立と展開を中心に、中国仏教、南伝仏教、チベット仏教にも言及する。</p>	竹村 一男
	<p>第6回 日本の仏教 日本の仏教の教義と歴史、現状について講述する。日本への仏教の伝来とその展開、各宗派による仏教思想の比較などを中心に解説し、更に寺院建築や仏像、曼荼羅など仏教文化遺産についても画像を交え解説する。</p>	竹村 一男
	<p>第7回 日本の民俗宗教 日本の宗教の基層をなす民俗宗教について、祖霊信仰や民俗神道、神社神道などを中心にその文化と歴史について講述する。日本の民俗宗教には様々な儀礼や祭祀が含まれるが、仏教との神仏習合も多々みられる。それらの特徴的な事例についても、画像を交え紹介する。</p>	竹村 一男
	<p>第8回 世界の民族宗教 特定民族に受け継がれる民族宗教ユダヤ教とヒンドゥー教について、その文化・歴史などを講述する。ユダヤ教はキリスト教・イスラム教の、ヒンドゥー教は仏教の起源となった宗教であるが、現在においても多数の信徒をもつ。その経緯と、なぜ民族の枠内に留まったかについて解説し、旧約聖書の記述については、地球環境史との関係もふまえて、画像を交え解説する。</p>	竹村 一男
	<p>第9回 中国の民族宗教 中国の民族宗教である儒教と道教について、その文化・歴史など画像を交え講述する。特に儒教については礼教（道徳）面が強調されることが多いが、その宗教面についても解説する。さらに、両宗教が日本に与えた影響などにも言及する。</p>	竹村 一男
	<p>第10回 新宗教 1830年代以降に成立した新宗教について、天理教、創価学会、モルモン教会を例に、その概要と歴史、教義について講述する。現在はこれらの新宗教も多くの信徒を持つに至り、家庭の宗教として信仰される例も多い。上記以外の幾つかの宗教団体、海外の新宗教などについても画像を交え解説する。</p>	竹村 一男
	<p>第11回 宗教と科学 宗教研究の事例 宗教を対象とする研究には、神学などの信仰者の視点によるものと、比較宗教学のように中立的な視点からのものがある。本講座は後者に属するが、ここでは比較宗教学、宗教社会学、宗教心理学などの中立的な社会科学の視点からなされてきた研究学説について解説する。さらに、反社会的教団の特徴や、講師の研究事例なども交えて講述する。</p>	竹村 一男

	<p>第12回 宗教と文化・芸術 宗教文化と芸術について講述する。古来より、宗教は芸術にも様々な影響を及ぼしてきた。その中で、特に美術と音楽、舞踊について、画像や映像を参考に解説する。また、宗教史跡、宗教建造物などの文化遺産にも言及する。</p> <p>第13回 グローバル化と宗教 グローバル化が進む現在における宗教の諸問題について解説する。現状の宗教動向に加え、反社会的教団による事件、IS問題、民族紛争などの事例について講述する。</p> <p>第14回 宗教と医療 宗教と医療に関する歴史や現状の諸問題について講述する。宗教団体と医療組織、特定教団の教義と輸血問題、終末医療などの医療現場における宗教の事例についても紹介する。</p> <p>第15回 神話・文学における宗教、及びまとめ 前半は、内村鑑三の宗教について講師の事例研究も交え講述する。後半は、聖典などに見られる印象的な言説や、文学作品における記述の紹介と、全講義のまとめを行う。</p>	<p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p>
科目の目的	<p>宗教は私達の身近に存在する。多くの家庭には仏壇や神棚が置かれ、年中行事や冠婚葬祭も宗教により執り行われる。旅行などで各地に足を運ぶと、おおよそ神社仏閣、宗教施設が存在しない地域はない。その一方で、宗教戦争の様相を呈した民族紛争がニュースに登場することも多い。本講義においては、このように多くの諸相において人間に関わりをもつ「宗教」とは何かについて考え、さらに様々な宗教を取上げ、その教義、歴史、さらに文化社会的側面について講述する。宗教理解は私達人間の理解、さらに文化・社会理解にも繋がる。</p> <p>なお、本講義は特定の宗教の視点によるものではなく、中立的な観点から広範に宗教を扱う。受講生各自の宗教観は人それぞれであろうが、医療現場における患者（被治療者）の宗教観も様々であるため、医療者には中立的かつ広範な視点での宗教理解が必要となってくる。医療に携わろうとする者はそのことを理解したうえで、私達人間に与えられた生命をまもることが、与えられた生命をよりよく生きることが大切かと考える。【看護職としての態度】【対象の理解】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの宗教を比較し、その歴史や教義、死生観などを分析、説明することが出来る。 ● 宗教にかかわる文化や時事問題などを理解し、適切に説明することが出来る。 ● 将来の医療現場において、患者や関係者の宗教観を理解し、適切かつ発展的な行動がとれる。 	
関連科目	哲学 心理学 社会学 芸術	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>1時間程度（計15回15時間）、講義内容の再確認と復習を行う。より深く学びたい受講生には、興味のある教典・聖典や、宗教に関連した文学作品などの読書に並行して、比較宗教学による文献の読解をお勧めする。最初は簡単な概説書でもよいが、以下に推薦文献をあげる。文献例：『イスラーム文化』井筒俊彦（岩波文庫）、『ヒンドゥー教』森本達雄（中公新書）、『儒教とは何か』加地伸行（中公新書）、『神道とは何か』伊藤 聡（中公新書）、『日本の民俗宗教』宮家 準（講談社学術文庫）、『世界の宗教』岸本英夫編（大明堂 絶版）、『森林の思考・砂漠の思考』鈴木秀夫（NHKブックス）、『現代医学と宗教』日野原重明（岩波書店）など。また、信仰者以外の人にとっては「聖書」や「コーラン」は難渋な書物であろうが、聴講によって基礎知識を得た後に読むと、理解が変わってくる。</p>	
教科書・参考書	<p>教科書 使用しない。必要に応じてその都度、プリントを配付する。</p> <p>参考書1 『ブッダの言葉』中村 元訳（岩波文庫）</p> <p>参考書2 『共同訳聖書』（日本聖書協会）</p> <p>参考書3 『コーラン』井筒俊彦訳（岩波文庫）</p>	
オフィス・アワー	講義終了後の教室。または講師出校時の非常勤講師室。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	各回のプリントを事前にActive Academyにアップロードしておきます。受講者はプリントアウトして授業に出席してください。	

講義科目名称： 芸術

授業コード： 4N008

英文科目名称： Art

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
東 晴美			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>ガイドダンス：オペラ、歌舞伎から現代演劇まで。舞台芸術の幅広さと、他の芸術ジャンルとの交流 舞台芸術は、言語、音楽、身体、美術などの要素を備えた総合芸術であることを紹介します。また、舞台芸術が様々なジャンルの芸術と深い関係があることを理解し、その上で舞台芸術を学ぶ意義について考えます。</p>	東 晴美
	<p>第2回</p> <p>ドラマ（物語）：創作された物語から、証言まで ギリシャ悲劇やシェイクスピアの作品において、ドラマはどのような構造を持っているかを考えます。またそのようなドラマを突き崩そうとしたベケットの作品や、ストーリーテリングや証言などポストドラマとしての現代演劇の取り組みを紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第3回</p> <p>劇場：社会と劇場、劇場と舞台芸術の関係 ギリシャ劇場から額縁舞台を経て、現代に至る劇場の変遷が、西洋の舞台芸術の歴史と呼応していることを学びます。また、舞台芸術における劇場の役割を考察します。</p>	東 晴美
	<p>第4回</p> <p>観客：もう一人の作り手として 舞台芸術の観客は、他の芸術と異なり物語をともに作りあげる存在でもあります。舞台芸術と観客の関係性について、ギリシャ時代から現代までの変遷を考えます。</p>	東 晴美
	<p>第5回</p> <p>身体：身体文化とことばの関係 俳優によって登場人物が表現されるリアリティについて、近代に絶大な影響を与えた俳優訓練法・スタニスラフスキーシステムを例に考察します。また、物語をつむぎだす言葉と身体の関係性を再考する実践も紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第6回</p> <p>ジェンダー：演じる性と演じられる性（小レポート） 演じる性として女優について考察します。また、舞台芸術では女性をどのように表現してきたか、演じられる性についても紹介します。翌週にレポートについてコメントをします。</p>	東 晴美
	<p>第7回</p> <p>能：物語のビジュアルイメージ化 能楽の基礎について学びます。また物語がビジュアルにイメージ化され定着していくことを平家物語を題材にした作品を例に考えます。また、600年前に生まれた芸能が、今もなお息づいている理由に迫ります。</p>	東 晴美
	<p>第8回</p> <p>狂言：笑いの表現 笑いは文化を象徴するキーワードです。笑いの芸能である狂言の基礎について学びます。またシェイクスピアの作品をもとにした新作狂言など、狂言師の新しい挑戦を紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第9回</p> <p>歌舞伎：現代に生きる古典芸能 歌舞伎の基礎について学びます。歌舞伎は冷凍保存された古典ではなく、常に同時代のエンターテインメントであろうとしています。能の物語を継承しながら、江戸時代としての現代劇として再生した「京鹿子娘道成寺」を例に考えます。</p>	東 晴美
	<p>第10回</p> <p>文楽：人形の表現と語る表現（小レポート） 文楽の基礎について学びます。北野武の映画「ドールズ」を紹介しながら、今日における文楽の可能性を考えます。翌週にレポートについてコメントをします。</p>	東 晴美
	<p>第11回</p> <p>ゲームと物語：日本の物語の再生 日本の歴史上の人物の伝記がゲームのコンテンツとなり、さらにその物語が、アニメ、漫画、舞台へと展開しています。このような流れを例に取りながら、日本の物語の新たな再生について考察します。</p>	東 晴美
	<p>第12回</p> <p>アニメ・マンガ：絵画と文学、舞台メディアの交流史 欧米と異なり、大人も愛する日本のマンガ文化について、江戸時代における絵画、文学、演劇のメディアミックス文化を源流として考察します。また、能や、歌舞伎など日本の伝統的なコンテンツがどのようにアニメやマンガに取り入れられているかを探求します。</p>	東 晴美

	<p>第13回 「ライオンキング」と文楽 文楽の人形の技術は、世界的にも大きなインパクトを与え続けています。「ライオンキング」や「キングコング」など、文楽にインスパイアされた表現を紹介します。</p> <p>第14回 2.5次元ミュージカル 現代日本では、舞台芸術、アニメ、ゲームなどが、メディアの垣根を越え縦横に入り交じりつつあります。代表例として漫画「テニスの王子様」のアニメ、ゲーム、ミュージカル化を紹介します。また、二次創作と日本の著作権意識の源流について考察します。</p> <p>第15回 まとめ:ひろがる芸術の世界 ボーカロイド初音ミクによる近松門左衛門作「曾根崎心中」の道行きのパフォーマンスを例にとりながら、新しいメディアと既存の文化との関係について考察します。これまでの授業について振り返り、ポイントを整理します。その上で、講義全体を振り返ったレポートを書いてもらいます。</p>	東 晴美 東 晴美 東 晴美
科目の目的	<p>この授業では、オペラ、歌舞伎から現代演劇までを含む舞台芸術を例にとり、芸術について学びます。</p> <p>まず、他の芸術と異なる舞台芸術ならではの特色について、西洋舞台芸術の歴史を通して考えます。</p> <p>次に、西洋とは異なる独自の発展をとげた日本の舞台芸術を概観します。また、難解だと思われるがちな古典芸能の鑑賞のポイントも紹介します。</p> <p>最後に、漫画、アニメ、ゲーム、ミュージカルなどの現代の表象文化を、芸術の視点から考察します。</p> <p>これまでに舞台芸術が扱ってきたテーマを通して、人と社会に深い関心を持って、社会人としての教養を身につけます。【看護職としての態度】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術を例に、芸術学の基本を学ぶ。 ・日本の芸能の特色を学ぶ。また、伝統芸能は、江戸時代以前の文化でありながら、近代以降も同時代の文化の影響も受けていることを理解する。 ・現代のメディアに、伝統的なコンテンツがどのように取り入れられているかを学ぶ。 ・舞台芸術が扱っているテーマを通して、人と社会に深い関心を持つ力を身につける。 	
関連科目	社会学	
成績評価方法・基準	授業中の小レポート（2回）各30%、期末教場レポート30%、授業中アンケートなど10%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	新聞、雑誌、テレビなどで紹介される舞台芸術や芸能に関する情報に関心を持つことがのぞましい。授業中のアンケートや授業後のレポートを提出に備えて1時間程度の学習をすることが望ましい。	
教科書・参考書	webポータルシステムにて講義資料をデータで配布(授業日前にデータを掲載、授業終了後1週間はダウンロード可)	
オフィス・アワー	木曜日 12:30～13:00	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	各テーマと、自分が現在関心をもっていることと関連づけながら学ぶことを求めます。	

講義科目名称： 哲学

授業コード： 4N009

英文科目名称： Philosophy

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
赤羽 悠			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 生命倫理

授業コード： 4N010

英文科目名称： Bioethics

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
峯村 優一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 法学(日本国憲法含む)

授業コード： 4N011

英文科目名称： Law(the Constitution of Japan)

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
道下 洋夫			

授業形態	講義形式にて行なう		担当者
授業計画	第1回	法とは何か なぜ法を学ぶのか、法とは何かについて様々な角度から考える	道下 洋夫
	第2回	法と社会・法の種類 法と社会との関わりあい方、法と医療の関わり合い方について理解する	道下 洋夫
	第3回	法の特徴・法の目的 法にはどのようなものがあるか、どのような性質を持つかについて理解する	道下 洋夫
	第4回	日本の司法制度 法的責任、訴訟事件にはどのようなものがあるかについて理解する	道下 洋夫
	第5回	憲法1 憲法の基本理念及び構造について理解する	道下 洋夫
	第6回	憲法2 基本的人権（平等権、受益権、平和的生存権）について理解する	道下 洋夫
	第7回	憲法3 基本的人権（自由権、社会権、包括的基本権）について理解する	道下 洋夫
	第8回	憲法4 統治機構（三権分立、地方自治）について理解する	道下 洋夫
	第9回	民法1 私法とは何か、債権債務とは何か、契約とは何かについて理解する	道下 洋夫
	第10回	民法2 不法行為など契約外の債権について、及び債権の一般的な規則について理解する	道下 洋夫
	第11回	民法3 物権とは何か、担保とは何かについて理解する	道下 洋夫
	第12回	民法4 行為能力、時効など民法の一般的な規則について理解する	道下 洋夫
	第13回	刑法1 刑法の基本原則について理解する	道下 洋夫
	第14回	刑法2 個々の犯罪、および特別法について理解する	道下 洋夫
	第15回	刑法3 構成要件、違法性、責任とは何かについて理解する	道下 洋夫
科目の目的	日本は、法治国家である。法治国家においては、法令が社会の仕組みを規定しており、その実施こそが社会を動かしているという過言ではない。したがって、諸君がこれから社会人として羽ばたいていくということは、いかに細かい法令であろうと「知りませんでした」では済まされない世界に飛び込んでいくということでもある。法学を学ぶ意義はここにこそある。【看護職としての態度】		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法を中心とした日本の法システムの概要について理解する。 ・憲法、民法、刑法を通じて実際の法規定を概観する。 ・社会人として生きていくのに必要な法知識を習得するだけでなく、2年生以降の専門領域における各種医療関係法規・医療倫理の学習へつなげる。 		
関連科目	看護学概論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉・社会保障制度論、地域保健行政、生命倫理		
成績評価方法・基準	定期試験(100%)		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回講義で扱った内容について目を通しておくこと(90分程度)。		
教科書・参考書	教科書：特にないが適宜、資料・法令を配布するので、各自事前に印刷して用意すること。		
オフィス・アワー	質問等があれば、講義中あるいは講義後に受け付ける。		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意	2年生以降の各種医療関係法規や社会保障制度の学習の前提となる。ただし、習得すべき知識量が極めて多いことに留意すること。		

講義科目名称： 社会学

授業コード： 4N012

英文科目名称： Sociology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
坂本 祐子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 社会学とは 社会の成り立ち 個人と集団と社会 第2回 個人の生活の理解 多面的な日常生活のとらえ方 第3回 保健・医療・看護とQOL QOL概念の変遷とその時代背景 現代医療におけるQOL概念の意義 第4回 社会的な健康 健康とは ソーシャル・キャピタルと健康 第5回 家族（1） 家族とは 家族の個人化と多様化 第6回 家族（2） ライフコースの変化と家族 第7回 家族（3） 家族のケア機能 ケアとジェンダー 第8回 家族（4） 児童虐待 ドメスティック・バイオレンス 高齢者虐待 第9回 社会階層 連鎖する貧困 社会的排除 第10回 地域社会（1） 地域社会とは 地域社会の変動とコミュニティ 第11回 地域社会（2） 人々の地域社会との関わり 第12回 地域社会（3） 社会的ネットワークとその意義 第13回 地域社会（4） コミュニティ形成とその諸課題 第14回 集団・組織 フォーマルな組織とインフォーマルな組織 第15回 ふりかえり 社会的存在としての人間 医療と社会情勢の変化	坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子
科目の目的	現在、日本は人口減少、経済格差や健康格差等多くの課題を抱えており、健康や生活を専門とする医療職は、医療や保健だけでなく、福祉、労働、地域等のあらゆる分野での活躍が期待されている。この科目は、適切な看護技術を提供するだけでなく、社会情勢の変化に注目し、身近な看護に関連する社会の有り様について考えるとともに、人々の生活や家族との関係、地域社会の動向を踏まえた適切な保健医療サービスの提供を可能にする知識の形成を目的とする。【看護職としての態度】【対象の理解】	
到達目標	1. 社会情勢の変化をとらえ、その社会で生きる個人の生活を考える際には、様々な切り口（家族・ライフスタイル・健康・地域社会とのつながり等）があることが理解できる。 2. 人間にとって社会とは何か、私たちが生きている現代社会のあり方を社会科学の視点で考察することができる。 3. 専門援助者として、家族の変化や虐待・DV等の暴力にどのように対応すべきか考えることができる。	
関連科目	法学（日本国憲法含む） 経済学 社会福祉・社会保障制度論 小児看護学総論 老年看護学総論 地域ボランティア活動論 看護学概論Ⅰ・Ⅱ 母性看護学総論 公衆衛生看護学概論 母子と家庭の心理・社会学 在宅看護学概論 災害看護論 社会福祉・社会保障制度論	
成績評価方法・基準	講義時間内に、何度か小レポートを実施（次回講義以降に返却）。定期試験70%・小レポート30%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyにより資料を配布するので、資料内の不明な用語等を調べてくること。また、前回講義の重要事項を見直しておくこと。日頃から新聞に目を通すことを習慣にし、1週間で4時間半以上を自己学習に必要な時間の目安とする。	
教科書・参考書	使用しない	
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を配布するので（前回講義翌日から当該日まで）、各自講義中に使用できるように準備しておくこと。	

講義科目名称： 生活文化と医療

授業コード： 4N013

英文科目名称： Culture and Medicine in Life

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
鈴木 英恵			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>オリエンテーション 本講義の目的と到達目標、授業の進め方（第1回から第15回までの講義内容の簡単な説明）のお話をします。講義の後半では、群馬県を中心に地域医療の対象となる人びとの暮らし（衣食住、歴史と文化）を紹介します。</p>	鈴木 英恵
	<p>第2回</p> <p>患者にとってのお守り 生活文化とは、過去から現在にわたって脈々と受け継がれてきた伝統的な風習のことです。ここでは、お守りの機能と役割を考えます。医療従事者からの目から見た、患者にとってのお守りの特徴について考えてみます。</p>	鈴木 英恵
	<p>第3回</p> <p>死生観について 死生観とは何かを考える時間を設けます。授業の後半部で、GWのレポート課題「死生観」の説明をします。あわせてレポートの書き方、文章の組み立て等のお話をします。</p>	鈴木 英恵
	<p>第4回</p> <p>道祖神と民間信仰 路傍に佇む地蔵、道祖神などの石仏は、人びとの信仰対象（主に病気治癒や旅の神等）として古くから造立されてきました。ここでは近世後期に盛んに造られた道祖神を取り上げ、その信仰内容を説明します。あわせて、現代社会における道祖神の役割も考えてみます。</p>	鈴木 英恵
	<p>第5回</p> <p>映像鑑賞 盲目の旅芸人瞽女 かつて、越後や北陸地方の村々をめぐる盲目の女性、瞽女さんがいました。幼いころに目を患うと自立した生活を送るために、幼少時から師匠に付いて三味線と唄の技術を身につけました。ここでは、瞽女さんの生活様式をみていきましょう。</p>	鈴木 英恵
	<p>第6回</p> <p>医療民俗学とは？！ 医療民俗学が対象とするのは、世間の人びとが日々の生活の中で経験し、知識として実践してきた医療習俗です。ここでは、医療民俗学の創設と医療習俗の対象となるもののお話をします。</p>	鈴木 英恵
	<p>第7回</p> <p>医療と年中行事 日本には四季があります。それぞれ季節の節目には、病魔や災厄を払う行事が存在します。ここでは年中行事の意味を考えながら、群馬県地域を中心とした病い除けの年中行事をみていきます。</p>	鈴木 英恵
	<p>第8回</p> <p>名づけとキラキラネーム 読み方が困難な子どもの名前をキラキラネームと呼びます。医療現場や社会において、キラキラネームは問題になっているようです。伝統的な名づけの方法と、現代におけるキラキラネームの命名方法の特徴を考えます。あわせて、産育の儀礼と習俗についても取り上げます。</p>	鈴木 英恵
	<p>第9回</p> <p>いのちの描写と絵の民俗 授業の前半部では、テキストを中心にいのちの捉え方を『徒然草』、熊野観心十界曼荼羅図から人の一生のあり方を考えます。授業の後半部では、正月飾りの縁起のよい初絵（福神、七福神の絵）を取り上げ、絵を読み解く面白さを実感します。新年を迎えるにあたり、縁起のよい絵は、人びとに何をもたらすのかを考えてみましょう。</p>	鈴木 英恵
	<p>第10回</p> <p>いのち観と人生儀礼 ここでは「いのち」についてじっくり考える時間を持ちます。テキストの内容をもとに、人生の節目にあたる人生儀礼の意味を理解します。</p>	鈴木 英恵
	<p>第11回</p> <p>獅子舞の魅力とその伝承方法 ここでは、世代を超えて継承される群馬県地域の獅子舞をいくつか紹介します。獅子舞の主な伝承者は、高齢者と子どもです。地域社会で活躍する高齢者の日々の生活と、健康維持の方法についてもみていきます。</p>	鈴木 英恵

	第12回	課題レポートの説明 本講義では、「生活文化と医療」をテーマにしたレポート課題があります。ここでは、ていねいにレポートの書き方の説明をします。近い将来、皆さんは医療従事者として患者やその家族と接する機会があると考えます。レポートでは、皆さん自身の生活に目を向けてもらい、日常生活の中での出来事などを例にまとめてもらいます	鈴木 英恵
	第13回	福祉と民俗 老いと福祉をキーワードに、脳を活性化させ、認知症を防ぐ回想法についてお話します。テキストを中心に、長寿の祝いの習俗もみていきます。	鈴木 英恵
	第14回	道の駅の農産物直売所にみる高齢者の活躍 群馬県利根郡川場村のお年寄り、元気な方が多いです。村内の多数のお年寄りが野菜や果物を道の駅川場田園プラザの農産物直売所に納品しています。高齢者の元気の秘訣を道の駅と関連付けて考えてみます。	鈴木 英恵
	第15回	まとめ（看取りと先祖供養） 現代社会では、個人やその家の考えによって供養の方法がさまざまです。ここでは、供養とは何かを考え、故人を偲ぶ習俗を見ていきます。	鈴木 英恵
科目の目的	本講義では、伝統的な医療習俗を取り上げます。具体的にいうと、伝統的な医療習俗とは民間に伝承する病気の捉え方、治癒の方法など、いわゆる民間療法が対象となります。民間療法は、医師や医療従事者より古くから存在し、私たちの生活に根付いてきました。ここでは、群馬県内を中心に地域医療の対象となる人びとの暮らしに焦点をあて、現代社会を生きる人びとが病いをどのように考え、健康を願って日々過ごしているのかを考えていきます現代における。医療技術は日々進歩し、近代的な医療が病院で施されます。しかしその一方で、人は重い病気や完治の困難な病気を抱えると、よりよい健康状態を求めて、まじない、お守り、お札など神仏の力を心の拠り所としています。こうした人びとの心意も、伝統的な医療習俗のひとつです。本講義をとおり、現代を生きる人びとの生活文化から医療との接点を実感し、患者やその家族の精神的な面を考慮できる保健医療従事者になることを目的とします。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】		
到達目標	伝統的な医療習俗を学ぶことは、いまの生活の質を向上させる可能性を持っています。現代の私たちの暮らしに繋がる新たな視点や考えを示してくれるのが、伝統的な医療習俗と言えます。今後、皆さんは赤子からお年寄りまで、あらゆる世代の患者やその家族と接するときに来ると考えます。こうした伝統的な医療習俗の話題を持つことで、コミュニケーション能力を高めることが期待できると考えます。同時に、患者らの心の動きを理解し、精神的な面のサポートも可能だと思えます。実生活の中から医療、看護などに関連する教養を深め、物事を考える能力を身につけることを目標とします。		
関連科目	生命倫理、家族社会学		
成績評価方法・基準	死生観に関するレポート課題（30%）、生活文化と医療に関するレポート課題（30%）、講義内容に関するミニテスト（40%）。2つのレポート課題の提出は必須です。課題未提出者の単位取得は認めません。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	医療に関連すること（病いの存在と治癒祈願、健康維持の方法など）に興味を持ってください。そして日々の生活の中から、医療・健康・病いなどに関連する事柄を自分で探し出してみてください。講義では、そのようなヒントになることをお話しします。人は生きている限り、病いと向き合って生きていきます。自分の身体の体調が悪いとき、あるいは病気や怪我をしたとき、どのような行動をして健康な身体を取り戻すでしょうか。自身を含み、身近な人たち（父母、祖父母、友人、知人など）は如何にして病いと向き合い、正常な身体を取り戻しているのかを考えてみましょう。私たちの暮らしを注意深く観察することで、医療との接点を知り、それと結びつく課題を発見できるようになります。それらの意味をひとつずつていねいに考えることで、「なぜ」という疑問を解決することができます。授業前に、90分ほど時間をかけてテキストをじっくり読み、授業内容と合わせて自分なりの考えをまとめてみてください。		
教科書・参考書	教科書：板橋春夫 2019 『叢書・いのちの民俗学3 生死 看取りと臨終の民俗 ゆらぐ伝統的生命観』 社会評論社 参考書1：福田アジオほか編 2019 『図解案内 日本の民俗』 吉川弘文館 参考書2：根岸謙之助 1991 『医療民俗学論』 雄山閣 必要に応じて、講義に関する資料を配布します。		
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			

講義科目名称： 地域ボランティア活動論

授業コード： 4N014

英文科目名称： Volunteer Activities in a Community

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
竹澤 泰子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 経済学

授業コード： 4N015

英文科目名称： Economics

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
飯島 正義			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 環境学

授業コード： 4N016

英文科目名称： Environmental Studies

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
西菌 大実			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 環境とは 環境問題の範囲と背景、SDGs</p> <p>第2回 地球の環境の構造 地球の自然の成り立ち</p> <p>第3回 生活を支える資源と持続可能社会 再生可能資源と再生不能資源、持続可能性とは</p> <p>第4回 環境問題の変遷 公害問題から地球環境問題へ</p> <p>第5回 典型七公害 大気・水・土壌の汚染、足尾鉍毒、四大公害病</p> <p>第6回 有害物質による環境汚染 イタイイタイ病を事例として</p> <p>第7回 水質汚濁（Ⅰ） 水質汚濁の原因、生活排水、BOD</p> <p>第8回 水質汚濁（Ⅱ） 水質汚濁の対策、下水道と浄化槽、多自然川づくり</p> <p>第9回 気候変動（Ⅰ） 気候変動の具体的な影響、豪雨・熱中症・感染症等の増加</p> <p>第10回 気候変動（Ⅱ） 温室効果ガス、気候変動の状況と将来予測</p> <p>第11回 気候変動（Ⅲ） 予防原則、先進国・途上国の責任、パリ協定</p> <p>第12回 エネルギー問題と低炭素社会への流れ 1次エネルギー、再生可能エネルギー</p> <p>第13回 廃棄物問題と循環型社会への流れ 一般廃棄物・産業廃棄物・感染性廃棄物と3R</p> <p>第14回 低炭素社会と循環型社会の融合 再生可能エネルギー・再生可能資源を中心とした社会づくり</p> <p>第15回 持続可能社会の構築をめざして 低炭素社会と循環型社会を具体化した未来社会の在り方を考える</p>	西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実
科目の目的	環境問題への認識は、現代社会を生きていくために不可欠の要素である。また、疾病の発症するバックグラウンドとして、その時代の環境が色濃く反映している。環境理解を深めることによって、社会人としてよりよく生き、適切な保健医療サービスを提供できるようになることを目指す。 【看護職としての態度】 【対象の理解】	
到達目標	1. 環境問題の背景と発生原因を理解する 2. 公害問題、地球環境問題とその対策の考え方を理解する 3. 資源・エネルギーの適切な利用と低炭素社会・循環型社会・持続可能社会構築への認識を持つ	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料をもとに授業該当箇所の予習・復習（自筆ノートの整備）を行う。 準備学習に必要な学習時間の目安は1コマ当たり4時間。	
教科書・参考書	使用しない（プリント配布）	
オフィス・アワー	授業の前後・非常勤講師室	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	

講義科目名称： 生物学

授業コード： 4N017

英文科目名称： Biology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
嶋田淳子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ヒトへの進化 生命を支える物質 (1) ①生命の誕生と進化、ヒトへの進化について概説 ②生命現象の普遍的な特質、一様性、多様性、連続性について ③生命活動に主要な役割を持つ構成成分(1) ・水の重要性 ・タンパク質	嶋田 淳子
	第2回 生命を支える物質 (2) 生命活動に主要な役割を持つ構成成分(2) ・炭水化物 (糖質) ・脂質 ・核酸 ・無機質 (無機塩類)	嶋田 淳子
	第2回～3回 生命の単位 ①ウイルス、原核細胞 (細菌類を含む)、真核細胞 ②真核細胞の構造と機能 ・細胞膜の構造と機能 ・細胞質基質の役割 ・核の構造と機能 ・粗面小胞体の構造と機能 ・滑面小胞体の構造と機能 ・ゴルジ体の構造と機能 ・リソソーム ・ペルオキシソーム ・ミトコンドリア ・色素体 ・細胞骨格の種類とその役割	嶋田 淳子
	第4回～5回 DNA ①DNA複製のしくみ ②DNAの変異と修復 ③遺伝情報発現のしくみ	嶋田 淳子
	第6～7回 受精、発生、分化 ①無性生殖と有性生殖、減数分裂 ②受精 ③発生と分化のしくみ 卵割と胞胚形成 ④胚葉形成 (中期胞胚変 (遷) 移と母性胚性変 (遷) 移) ⑤器官形成 ⑥形態形成とアポトーシス	嶋田 淳子
	第8回 ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則と形質の遺伝 ①ヒトの染色体と遺伝子 ②メンデルの法則と形質の遺伝 ③A B O血液型の遺伝 ④家系図の書き方 ⑤遺伝病の原因——遺伝子変異	嶋田 淳子

科目の目的	高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、医療系専門職の専門課程の学習を理解するために必要な生命現象の基礎知識を深めることを目的とする。特に生物学では生体を構成する基本単位である細胞について、その構造と機能、細胞の増殖と生殖細胞の形成などを学び、さらに生命の連続性を担保する受精、発生、形質の遺伝について知識を深めることを目的とする。【看護職としての態度】
-------	--

到達目標	ヒトの生命活動の全体像を理解するために次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①生命の起源からヒトへの進化、生命現象の特質について理解する。 ②細胞構成成分である水の重要性を理解し、タンパク質、糖、脂質、核酸、無機質について説明できる ③細胞の構造、細胞構成成分、細胞内小器官の働きや仕組みを理解する ④細胞の周期とその調節、体細胞分裂と減数分裂を図示して詳細に説明できる。 ⑤生殖、発生、分化のしくみ、形態形成とアポトーシスについて理解する。 ⑥ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則とヒト正常形質の遺伝について説明できる。
------	---

関連科目	化学、解剖学 I、生理学 I、生化学
------	--------------------

成績評価方法・基準	定期試験の成績 (75%) 及び講義終了時に提出するリアクションペーパー (25%) により評価する。
-----------	---

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を 1 時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典 (岩波書店、東京化学同人社など) で調べ、理解しておくこと。
-------------------------	---

教科書・参考書	教科書：「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄 (医歯薬出版株式会社)
---------	---

	<p>参考書：1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳（南工堂） 2. アメリカ版「大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルーボックス（講談社） 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝 （羊土社）</p>
オフィス・アワー	授業終了後に教室で、または随時e-mailで質問を受ける。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	基礎生物学分野の研究が医療に生かされている現状、ヒトの遺伝などを理解するために、教科書、講義資料等で予習後、履修することが望ましい。

講義科目名称： 数学

授業コード： 4N018

英文科目名称： Mathematics

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 数と式 多項式の四則演算を復習する。日常で数や式を操作するセンスを伸ばすことを促す。	井上 浩一
	第2回 方程式と不等式 1次不等式、2次方程式の復習をする。日常や医療の場でもそのセンスを役立てることを促す。	井上 浩一
	第3回 2次関数 関数とグラフの概念を復習する。 関数の最大・最小の求め方を整理する。 2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式の関係。 生活の中で数量的なセンスを発揮することを促す。	井上 浩一
	第4回 図形と計量 三角比、正弦定理と余弦定理、図形の計量に関して復習する。 生活の中でそのセンスを磨くことを考える。	井上 浩一
	第5回 個数の処理 集合とその要素の個数、場合の数、順列、組み合わせ・二項定理の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを促す。	井上 浩一
	第6回 確率 事象と確率、確率の性質、反復試行の確率、期待値の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを考える。	井上 浩一
	第7回 論理と命題 命題と条件、必要条件、十分条件、逆、裏、対偶の復習。生活や医療の場で論理的なものごとをとらえるセンスを磨くことを促す。	井上 浩一
	第8回 基礎統計学 資料の整理を復習し、データの特徴的な値を求める。	井上 浩一
科目の目的	高校数学の基礎を復習し、数学の各分野の概念を再確認し、それを医療を含む生活での現象に結びつけて応用するセンスと技能を伸ばし、将来、医療従事者として数理現象を見出し、定量的に表現し、その上で分析、評価するための基礎的な能力を磨く。具体的には、数と式、方程式と不等式、二次関数、図形と計量、場合の数と確率、論理と命題、基礎統計学について学ぶ。【看護職としての態度】	
到達目標	1. 基礎的な数学の概念の復習をする。 2. 数学の概念や道具を自力で扱えるようにする。 3. 定量的なものごとを評価するセンスを磨く。	
関連科目	化学	
成績評価方法・基準	筆記試験(100%) なお、社会情勢に応じて、筆記試験の代わりにレポート試験をすることもありうる。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・高校数学の教科書の相当部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度)	
教科書・参考書	教科書・参考書：特になし。 毎回、講義内容のプリントをActive Academyで配布する。 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷して授業に持参すること	
オフィス・アワー	授業前後の休憩時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 化学

授業コード： 4N019

英文科目名称： Chemistry

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 化学の立場から医療を考える 歴史的に重要な化学物質を取り上げて、化学物質がどのように医療に貢献してきたか考える。	日置 英彰
	第2回 物質の成り立ち 物質を構成している分子と原子の構造、原子軌道、分子軌道について解説する。	日置 英彰
	第3回 元素と周期表 自然にはどのような元素があるのか、元素の分類と周期表の読み方について解説する。	日置 英彰
	第4回 イオン イオンとイオン結合の原理、生体内でのイオンの役割について解説する。	日置 英彰
	第5回 共有結合化合物と有機分子 生体を構成している物質のほとんどは有機分子である。有機分子の結合様式、特異的な形、一般的な性質について解説する。	日置 英彰
	第6回 水の性質と物質の状態変化 ヒトの体の半分以上を占める水の性質と物質の三態（気体、液体、固体）について解説する。	日置 英彰
	第7回 化学反応の速度 化学反応の速度の測定方法、速度に影響を与える要因について解説する。	日置 英彰
	第8回 放射線と放射能 放射性崩壊と半減期、医療における放射性同位体の利用について解説する。	日置 英彰
科目の目的	地球上に生きるすべての生命を持つものを物質から見れば、巨視的に見えるものから究極を突き詰めれば見えないものは原子や分子の世界まで行きつくことになる。本科目では、物質の科学であると言われる化学について、物質についての基本的な事項を高校化学の基礎にさかのぼり学び、専門課程の理解のための基礎的知識を身につけることを目的とする。【看護職としての態度】	
到達目標	専門課程で学習する内容を理解するために、化学分野の基礎的知識を習得する。	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（80%）、毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（20%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ないが、毎回の講義の理解度を確認するために、各講義ごとに出题されるチェックテストを活用して復習してください。準備学習時間の目安：1時間	
教科書・参考書	教科書：看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人 参考書：特に指定なし	
オフィス・アワー	講義前後の時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特にありません。	

講義科目名称： 英語リーディング

授業コード： 4N020

英文科目名称： General English Reading

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
一瀬 厚一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Guidance for class 授業の説明：成績評価、課題、学習の方法などについて	一瀬 厚一
	第2回 Lesson 1: Communication トピックに関する英文読解。（課題）Grammar for Communication（現在時制）をもとに簡単な英作文に挑戦する。	一瀬 厚一
	第3回 Lesson 2: Friendship 前回の課題の解説。トピックに関する英文読解。（課題）Grammar for Communication（過去時制）をもとに簡単な英作文に挑戦する。	一瀬 厚一
	第4回 Lesson 3: Health 前回の課題の解説。トピックに関する英文読解。（課題）Grammar for Communication（未来時制）をもとに簡単な英作文に挑戦する。	一瀬 厚一
	第5回 Lesson 4: Environment 前回の課題の解説。トピックに関する英文読解。（課題）Grammar for Communication（助動詞）をもとに簡単な英作文に挑戦する。	一瀬 厚一
	第6回 Lesson 5: Fashion 前回の課題の解説。トピックに関する英文読解。（課題）Grammar for Communication（準動詞・関係詞1）をもとに簡単な英作文に挑戦する。	一瀬 厚一
	第7回 Lesson 6: Food 前回の課題の解説。トピックに関する英文読解。（課題）Grammar for Communication（準動詞・関係詞2）をもとに簡単な英作文に挑戦する。	一瀬 厚一
	第8回 Lesson 7: Science & Technology 前回の課題の解説。トピックに関する英文読解。（課題）Grammar for Communication（比較1）をもとに簡単な英作文に挑戦する。	一瀬 厚一
	第9回 Lesson 8: Study Abroad 前回の課題の解説。トピックに関する英文読解。（課題）Grammar for Communication（比較2）をもとに簡単な英作文に挑戦する。	一瀬 厚一
	第10回 Lesson 9: College Life in the U. S. listening practice。重要単語の確認。topicについてのリーディング。	一瀬 厚一
	第11回 Lesson 10: Steve Jobs 前回の課題の解説。トピックに関する英文読解。（課題）Grammar for Communication（仮定法）をもとに簡単な英作文に挑戦する。	一瀬 厚一
	第12回 Lesson 11: Volunteer Work 前回の課題の解説。トピックに関する英文読解。（課題）Grammar for Communication（話法）をもとに簡単な英作文に挑戦する。	一瀬 厚一
	第13回 Lesson 12: Internship 前回の課題の解説。トピックに関する英文読解。（課題）Grammar for Communication（代名詞・冠詞の使い方）をもとに簡単な英作文に挑戦する。	一瀬 厚一
	第14回 Lesson 13: Travel 前回の課題の解説。トピックに関する英文読解。（課題）Grammar for Communication（副詞）をもとに簡単な英作文に挑戦する。	一瀬 厚一
	第15回 Lesson 14: Culture 前回の課題の解説。トピックに関する英文読解。（課題）Grammar for Communication（修飾語）について学習する。	一瀬 厚一
科目の目的	専門分野の英語に取り組むための基礎力、特にリーディング力、リスニング力を養成する。英語を学ぶことを通じて、将来の医療人として人間や社会に対する興味・関心の幅を広げ、関心・興味を持った事柄に関して調べ、自分の考え・意見を持ち、それらを表現する。【看護職としての態度】 【国際的な視野】	
到達目標	・テキストや各自の力と興味に合わせた本を読むことを通じて、多くの英文に接し、構文を正しく理解し、英文の内容を理解することができる。	

	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストのトピックについて調べ、自分の考え・意見を持ち、グループやペアでの話し合いを通じて、他者の考え・意見も聞き、最終的に自分の考え・意見をまとめ、表現することができる。 ・テキスト教材の音声聞いて、単語や文章を聴き取り、発音することができる。 ・extensive readingの目標は10,000words。易しい英文を楽しみながら読むことができ、口語表現、日常生活での英語表現が理解できる。
関連科目	医療英語会話、医療英語リーディング、英語会話、英語アカデミックリーディング・ライティング
成績評価方法・基準	定期試験(60%) 課題(30%) extensive reading(10%) ※定期試験は60点満点で実施する。課題内容、回数、フィードバックについては授業内で説明する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>予習：次回に学習する英文を読み、分からない単語をピックアップしてノートにまとめる。その後もう一度読み、自分で訳してみ、分からない箇所を明確にする。予習の仕方については第1回の授業で説明する。</p> <p>復習：授業で解説を聞いた後、予習の段階で分からなかった箇所をもう一度自分で訳して、理解度を高める。ノートにまとめた単語を繰り返し見直し、暗記する。</p> <p>予習・復習あわせて1.5～2時間。復習に時間をかけることが望ましい。</p> <p>extensive readingについては、目標達成に向けて、各自のペースで計画的に進める。</p>
教科書・参考書	教科書：Journeys: Communication for the Future 阿野幸一ほか4名（朝日出版社）
オフィス・アワー	講義日の昼休み、授業の前後（非常勤講師室にて）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	<p>養護教諭2種免許取得のための要件科目 英和辞典を持参してください（紙媒体、電子どちらでも可）。また高校までの基本的な英文法は理解しておいてください。</p>

講義科目名称： 医療英語リーディング

授業コード： 4N021

英文科目名称： Medical English Reading

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
一瀬 厚一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Guidance for class and Unit 1: Test Your Reading Skill 授業の説明：成績評価、医療英単語テスト、extensive reading、学習の方法などについて	一瀬 厚一
	第2回 Unit 4: Before Calling It Malpractice topicの英文読解および内容の把握。医療英単語1	一瀬 厚一
	第3回 Unit 4: Before Calling It Malpractice topicの英文読解および内容の把握。Grammar CheckとReading Comprehension。 topicにもとづいたactivities。医療英単語2	一瀬 厚一
	第4回 Unit 3: Where Medicine Meets Religion topicの英文読解および内容の把握。医療英単語3	一瀬 厚一
	第5回 Unit 3: Where Medicine Meets Religion topicの英文読解および内容の把握。Grammar CheckとReading Comprehension。 topicにもとづいたactivities。医療英単語4	一瀬 厚一
	第6回 Unit 5: How Are Drugs Developed? topicの英文読解および内容の把握。医療英単語5	一瀬 厚一
	第7回 Unit 5: How Are Drugs Developed? topicの英文読解および内容の把握。Grammar CheckとReading Comprehension。 topicにもとづいたactivities。医療英単語6	一瀬 厚一
	第8回 Unit 6: What Comes First When Helping Others topicの英文読解および内容の把握。医療英単語7	一瀬 厚一
	第9回 Unit 6: What Comes First When Helping Others topicの英文読解および内容の把握。Grammar CheckとReading Comprehension。 topicにもとづいたactivities。医療英単語8	一瀬 厚一
	第10回 Unit 8: What Is "Upstream" Thinking? topicの英文読解および内容の把握。医療英単語9	一瀬 厚一
	第11回 Unit 8: What Is "Upstream" Thinking? topicの英文読解および内容の把握。Grammar CheckとReading Comprehension。 topicにもとづいたactivities。医療英単語10	一瀬 厚一
	第12回 Unit 12: Hopes in Regenerative Medicine topicの英文読解および内容の把握。医療英単語11	一瀬 厚一
	第13回 Unit 12: Hopes in Regenerative Medicine topicの英文読解および内容の把握。Grammar CheckとReading Comprehension。 topicにもとづいたactivities。医療英単語12	一瀬 厚一
	第14回 Unit 14: Japan's Healthcare System Is the Envy of the World topicの英文読解および内容の把握。医療英単語13	一瀬 厚一
	第15回 Unit 14: Japan's Healthcare System Is the Envy of the World topicの英文読解および内容の把握。Grammar CheckとReading Comprehension。 topicにもとづいたactivities。医療英単語14	一瀬 厚一
科目の目的	専門分野の英語に取り組むためのリーディング力、リスニング力の養成と強化。 医療系の基本的英語語彙力と英語表現力の強化。【看護職としての態度】 【国際的な視野】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療全般に関するトピックを読み、構文を正しくとらえ、内容を理解することができる。 ・トピックの内容をまとめ、関連する事柄について、自分の意見・考えを表現できる。 ・各自の力と興味に合わせた本を読むことを通じて、多くの英文に接し、構文を正しく理解し、英文の内容を理解することができる。 ・テキストの音声聞いて単語や文章を正しく聴き取ることができる。 ・医療の基本的英単語、英語表現を覚え、声に出して読んで書くことができる。 	
関連科目	英語リーディング 医療英語会話 英語会話 英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	定期試験 (90%) 医療英単語テスト(10%) ※定期試験は90点満点で実施する。医療英単語テストについては授業内で説明する。	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	<p>予習：次回に学習する英文を読み、分からない単語をピックアップしてノートにまとめる。その後もう一度読み、自分で訳してみ、分からない箇所を明確にする。予習の仕方については第1回の授業で説明する。</p> <p>復習：授業で解説を聞いた後、予習の段階で分からなかった箇所をもう一度自分で訳して、理解度を高める。授業で扱われた文法事項やノートにまとめた単語を繰り返し見直して、暗記する。</p> <p>予習・復習あわせて1.5～2時間。復習に時間をかけることが望ましい。</p>
教科書・参考書	教科書：Medical World Walkabout 大野直子&ダンルヴァ石田牧子（成美堂）
オフィス・アワー	講義日の昼休み、授業の前後（非常勤講師室にて）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	英和辞典を持参してください（紙媒体、電子どちらでも可）。また高校までの基本的な英文法は理解しておいてください。

講義科目名称： 英語会話

授業コード： 4N022

英文科目名称： General English Conversation

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 医療英語会話

授業コード： 4N023

英文科目名称： Medical English Conversation

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 英語アカデミックリーディング・ライティング 授業コード： 4N024

英文科目名称： Academic Reading and Writing in English

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 中国語

授業コード： 4N025

英文科目名称： Chinese

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
深町 悦子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス、中国語とは？ 発音、漢字、声調	深町 悦子
	第2回 中国語の発音のきまり 単母音、複合母音、声調	深町 悦子
	第3回 子音の発音と音節 母音、子音、音節表の読み方	深町 悦子
	第4回 発音のまとめ 自分の名前を中国語で読む練習	深町 悦子
	第5回 第1課の学習 第1課 [私は日本人です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第6回 第1課の復習と第2課の学習 第2課 [これは中国語の教科書です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第7回 第2課の復習と第3課の学習 第3課 [マクドナルドに行きましょう] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第8回 発音の総合復習と第1課から第3課までの復習 中間レポート提出	深町 悦子
	第9回 第3課の復習と第4課の学習 第4課 [明日の天気はあまりよくない] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第10回 第4課の復習と第5課の学習 第5課 [私は今年18歳です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第11回 第5課の復習と第6課の学習 第6課 [食堂は図書館のむかいにあります] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第12回 第6課の復習と第7課の学習 第7課 [私は11時に寝ます] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第13回 第7課の復習と第8課の学習 第8課 [私は中日辞典を1冊買いに行きたい] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第14回 第8課の復習と第9課の学習 第9課 [私は本屋でアルバイトをしています] 文法 単語 本文 置換練習 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第15回 第1課から第9課までの復習 総合復習	深町 悦子
科目の目的	現代のグローバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成する。【看護職としての態度】 【国際的な視野】	
到達目標	日常生活及び仕事の中で、簡単な会話ができること。	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	期末に筆記試験を行う。基準は筆記試験が80%、授業内にレポート及び感想文の提出が20%。提出されたレポートについては次回授業内でフィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前の予習と授業後の復習をすること。1時限ごとに30分ぐらい必要である。発音の練習は必ずしっかりする事、特に四声については、音声ファイルを聞きながら発声して覚えるように。	

教科書・参考書	教科書：グッと入門中国語（金星堂） 参考書：なし
オフィス・アワー	講義の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	教科書の購入が必要である

講義科目名称： コリア語

授業コード： 4N026

英文科目名称： Korean

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
青木 順			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ハングルの読み方 基本母音 朝鮮半島、ソウル市などを簡単に紹介し、ハングルの由来、構造を簡単に説明。 基本母音10個の読み方、基本母音を含んだ単語、挨拶言葉等を学習する。	青木 順
	第2回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統料理を紹介する。	青木 順
	第3回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第4回 ハングルの読み方 激音（濃音と比較しながら） 濃音と比較しながら激音5個の読み方、激音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統茶を紹介する。	青木 順
	第5回 ハングルの読み方 濃音（激音と比較しながら） 激音と比較しながら濃音5個の読み方、濃音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第6回 合成母音 合成母音11個の読み方、合成母音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第7回 ハングルの読み方 パッチム パッチムの読み方、パッチムを含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として食事のマナー、1歳の誕生日を紹介する。	青木 順
	第8回 「私は青木順です」① サンパッチム、連音の説明、練習を行う。	青木 順
	第9回 「私は青木順です」② 「は」「です」「～と申します」という文法の学習、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統家屋、伝統舞踊を紹介する。	青木 順
	第10回 「私は青木順です」のまとめと「何人家族ですか？」① 韓国語での自己紹介を一人一人行う。 関連単語、「ます」「ますか」等の文法の学習と練習を行う。 文化として伝統的結婚式、楽器等を紹介する。	青木 順
	第11回 「何人家族ですか」② 「お～になります」「が」「と」などの文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第12回 「何人家族ですか」③ 固有数字、関連会話文の読み、訳、会話練習等を行う。 文化として伝統遊びを紹介する。	青木 順
	第13回 「すみません」① 関連単語、「～してください」、意志を含んだ「ます」等の文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第14回 「すみません」② 「いる（いない）」「ある（ない）」の説明と練習。 固有数字を使う助数詞、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統刺繍を紹介する。	青木 順
	第15回 「すみません」③とまとめ 会話練習、文法のまとめ、試験問題の説明を行う。	青木 順
科目の目的	基礎的なコリア語を学ぶと同時に、韓国社会や文化への理解も深める。【看護職としての態度】 【国際的な視野】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ハングル文字を正確に読み書きできるようになる。 ・正確な発音をマスターする。 ・挨拶をはじめ、簡単な日常会話を身につける。 	
関連科目	特になし。	
成績評価方法・基準	課題への取り組み（40%）・期末テスト（60%）	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	授業で学習した内容はその都度復習しておくこと。 外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、毎日10分でもよいので、積極的に取り組むこと。
教科書・参考書	講師作成教材使用予定(コピー)
オフィス・アワー	韓国語の授業のある日12:30~12:50非常勤教員室
国家試験出題基準	特になし。
履修条件・履修上の 注意	講師作成の教材を使用する。 配布期間：前回の授業翌日から当該日まで。 持参方法：各自印刷して授業に持参すること（課題も含まれているため、印刷必須）。

講義科目名称： ドイツ語

授業コード： 4N027

英文科目名称： German

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
菅谷 優			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 動詞の現在人称変化 1	菅谷優
	第2回 名詞と冠詞の格変化	菅谷優
	第3回 名詞の複数形・人称代名詞	菅谷優
	第4回 動詞の現在人称変化 2・命令法	菅谷優
	第5回 定冠詞類・不定冠詞類	菅谷優
	第6回 前置詞	菅谷優
	第7回 話法の助動詞・未来形・非人称動詞	菅谷優
	第8回 分離動詞と非分離動詞・接続詞	菅谷優
	第9回 動詞の三基本形・過去人称変化	菅谷優
	第10回 現在完了・再帰表現	菅谷優
	第11回 形容詞の格変化	菅谷優
	第12回 形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞	菅谷優
	第13回 関係代名詞・指示代名詞	菅谷優
	第14回 受動態	菅谷優
	第15回 接続法	菅谷優
科目の目的	ドイツ語の基礎文法を一巡する。【看護職としての態度】 【国際的な視野】	
到達目標	講師のいない独習においても辞書と教科書を用いてドイツ語の文章が理解できるようにする。	
関連科目	健康スポーツ実技 現代文学 英語リーディング 医療英語会話 中国語 コリア語 ポルトガル語 情報処理	
成績評価方法・基準	期末試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各文法事項一課につき予習復習込みで二時間	
教科書・参考書	教科書は郁文堂からでているDeutsche Grammatik System und Praxis Leicht ISBN978-4-261-01272-9を使用。辞書は郁文堂：新キャンパス独和辞典978-4-261-07306-5をお買い求めください。参考書として朝日出版社から出ている単語帳：ドイツ語基礎単語帳をお勧めいたします。	
オフィス・アワー	授業終了後、教室前、あるいは講師室にて	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： ポルトガル語

授業コード： 4N028

英文科目名称： Portuguese

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
Hilda Harumi Handa			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas. Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas.</p> <p>第2回 Brazil and the other nine countries that speak Portuguese / Brasil e os outros nove paises que falam português. A brief lecture about Brazil and nine other countries whose official language is Portuguese</p> <p>第3回 Greetings and Pronouns Greetings / Cumprimentos/Apresentacao Possessive adjectives/pronouns / Pronomes possessivos Saying hello and goodbye / Encontrar-se/despedir-se</p> <p>第4回 Alphabet and pronunciation / Alfabeto e pronuncia Syllables / Formacao das silabas Introduction to Portuguese Alphabet</p> <p>第5回 Stress / Acentuacao Stress rules Oxitonas/paroxitonas/proparoxitonas Rules for stressing.</p> <p>第6回 Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos We'll talk about kinds of nouns and adjectives.</p> <p>第7回 Articles / Artigos definidos/indefinidos Prepositions / Preposicoes Verbs / Verbos Adverbs / Adverbios Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos Learning about articles, prepositions, verbs, and adverbs.</p> <p>第8回 Conjunctions / Conjuncoes Time / Horas Seasons/Weather / Estacoes/climas Class about conjunctions, and how to talk about time and the weather.</p> <p>第9回 Cardinal/ordinal numbers / Numeros Cardinais/ordinais Phone / Telefone Email All about numbers.</p> <p>第10回 Subject pronoun / Pronomes Pessoais Verb Be I / Verbos ser e estar I More pronouns and the verb Be, that means more than one verb in Portuguese.</p> <p>第11回 Verb Be II / Verbos Ser e estar II Continuing with the verb Be.</p> <p>第12回 Family / Familia Week/month/year / Semana/meses/ano Colors / Cores Light class about family, dates, and colors.</p> <p>第13回 Human Body / Corpo Humano Clothing / Roupas Special class about the human body.</p> <p>第14回 Food & Culture / Gastronomia e cultura Let's learn about Brazilian food, and maybe taste some of it.</p> <p>第15回 Exam Let's see how much you learned from the previous classes.</p>	
科目の目的	<p>ポルトガル語は主にブラジルで話される言語で、1万人以上のブラジル系住民が生活する群馬県内でも接する機会が多い言語です。群馬県内(特に東毛地区)において地域に関わる仕事(例えば、公務員や教員、医療関係など)を希望している学生にはポルトガル語の習得をお薦めします。</p> <p>また、ポルトガル語はブラジル以外の国々でも公用語とされているところがあり、国際的に活動したいという際にも役立てることができます。</p> <p>ポルトガル語は英語に近い構造のヨーロッパ言語で、英文法や語彙の知識が応用できる項目もあり、一方で英語の理解にも役立ちます。</p> <p>本授業の目標はポルトガル語の入門にとどまりますが、初級、中級へと学習を進めるためのきっかけとなると同時に、「英語以外のヨーロッパ言語」に関心を持っていただくこと、加えて可能な限り、ブラジルを中心としたポルトガル語圏の文化についても授業内で紹介し、ポルトガル語に関わる事柄の知見を広めることも目指します。【看護職としての態度】 【国際的な視野】</p>	

到達目標	<p>本授業では欧州言語共通参照枠(CEFR)のA1レベルを習熟目標とし、ポルトガル語の基本中の基本となる以下の基礎文法と基礎的なコミュニケーション表現を習得することを目指します。</p> <p>(1)ポルトガル語を読める (2)名詞や形容詞の性数の考え方が理解できる (3)挨拶など基礎的な表現ができる (4)基礎的な語彙を使うことができる (5)動詞の活用ができる</p> <p>これらに加え、とりわけブラジル人との日常的なコミュニケーションに関わる文化の知識(食文化、交通など)を身につけることも目標とします。</p>
関連科目	特になし
成績評価方法・基準	50% from final exam, and 40% participation (not attendance) in class, 10% assignments.
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	No special knowledge is required for it's a class for beginners. However, students should prepare by reviewing the handouts from the previous class and reading the newspapers or magazines mentioned in class. Students are advised to study about 2-3 hours per week in preparation for each 90-minute lesson.
教科書・参考書	Teacher will provide handouts. Students will be encouraged to read some books, newspapers or magazines, that will be mentioned during class.
オフィス・アワー	Students can communicate through email that will be provided on the first class.
国家試験出題基準	特になし
履修条件・履修上の注意	<p>5回以上の欠席がある場合は期末試験を受けられません。 また、特別な事情がない場合の30分以上の遅刻は欠席と見なします。 就職活動や特別な事情による欠席は考慮いたします。</p> <p>大学生として相応な英語力と意欲、情熱があることが望ましいです。</p>

講義科目名称： 情報処理

授業コード： 4N029

英文科目名称： Information Processing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
西谷 泉			

授業形態	演習	担当者
授業計画	第1回 本講義の概要、1章&2章 本講義の概要とOfficeの基本について学ぶ テキスト (目次) 本書と連携サイトの活用法	西谷 泉
	第2回 3章 Word 文書作成 Wordを使った具体的な文書作成について学ぶ テキスト (第1章) コンピューターの仕組み	西谷 泉
	第3回 3章 Word 画像や図形を活用した文書作成 Wordを使って画像や図形を活用した文書作成について学ぶ	西谷 泉
	第4回 4章 Excel 表計算のデータ入力 Excelを使って表計算のデータ入力の基本について学ぶ	西谷 泉
	第5回 4章 Excel 関数を使った表計算 Excelを使って重要な関数を活用した表計算を具体例を通して学ぶ	西谷 泉
	第6回 4章 Excel グラフ作成 Excelを使って表の内容をグラフに表現することを学ぶ	西谷 泉
	第7回 4章 Excel 検索関数の利用 Excelを使って条件を満たすデータを検索することを学ぶI	西谷 泉
	第8回 4章 Excelの便利な機能 Excelの便利な機能を使った分かりやすい表作成を学ぶ	西谷 泉
	第9回 4章 Excel 実習問題 これまで学んだ内容についての実習問題に取り組む テキスト (第7章) レポート作成 (Word) ▼レポート作成サンプルファイル	西谷 泉
	第10回 万年カレンダーの作成 Excelに関して学んだことを使って、万年カレンダーを作成する	西谷 泉
	第11回 5章 PowerPoint プレゼンテーションの基本について学ぶ PowerPointの使い方とスライド作成の基本について学ぶ テキスト (第9章) グラフ作成 (Excel)	西谷 泉
	第12回 5章 PowerPoint アニメーションなどの活用 PowerPointのアニメーションを使った分かりやすいスライド作成について学ぶ テキスト (第9章) グラフ作成 (Excel) ▼集計表、グラフ作成サンプルファイル	西谷 泉
	第13回 5章 PowerPoint スライドショーと資料作成 PowerPointのスライドショーとプレゼン資料について学ぶ テキスト (第10章) プレゼンテーション作成 (PowerPoint)	西谷 泉
	第14回 6章 Office フォトレタッチ機能 Officeソフトを使った画像編集について学ぶ テキスト (第10章) プレゼンテーション作成 (PowerPoint) ▼プレゼンテーション作成サンプルファイル	西谷 泉
	第15回 まとめ これまでの学習内容を総括する	西谷 泉
科目の目的	膨大な情報が溢れる現代社会に生きている私たちは、適切に情報を収集・処理し、それらを有効に活用する能力を身に付けることが求められている。情報を適切に処理するためにはコンピュータとソフトウェアを活用することが重要である。本授業では、情報処理において世界的に活用されているソフトウェアのMicrosoft Officeを使った情報処理、情報伝達などについて、豊富な具体例を通して実習的に学習する。それによって情報処理の能力に向上を目指す。【看護職としての態度】	
到達目標	パソコンのソフトウェアであるOffice内の、Word,Excel,PowerPointを有効に活用できるようになることと、それによって適切な情報の処理、分析、さらにそれらを他者に伝達する能力を身に付けることを目標とする。	
関連科目	情報リテラシー	
成績評価方法・基準	課題(40%)、小テスト(40%)、リアクションペーパー(20%) 合わせて100%	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	この授業では、テキストを利用して、授業（60分）、自己学習（20分）、ミニテスト（10分）を演習を通して実施します。関連する項目を事後学習（40分）で理解を深め、課題にも取り組むことを想定している。
教科書・参考書	教科書：「30時間でマスター Office2019」実教出版
オフィス・アワー	未定
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	MS-Office2019（MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint）ウェブブラウザをインストールしたPC（Windows10対応）を持参してください。

講義科目名称： 情報リテラシー

授業コード： 4N030

英文科目名称： Information Literacy

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西谷 泉			

授業形態	講義と実習	担当者
授業計画	第1回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第2回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第3回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第4回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第5回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第6回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第7回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第8回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第9回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第10回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第11回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第12回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第13回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第14回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第15回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
科目の目的	高度情報化社会である現在社会において、様々な情報が溢れている。そのような情報を収集・整理・分析し、それを適切に表現・伝達する能力の重要性が増している。本授業では、受講生の主体的な取り組みを重視し、Active Learningを生かした活動を通して、そのような能力の育成を目指す	

	す。合わせて、情報社会における守るべき情報倫理やルール、セキュリティなどについても学習する。これらの学習活動は、様々な課題に取り組む将来医療従事者として活動する上で、役立つものであると考える。【看護職としての態度】【国際的な視野】
到達目標	適切な情報収集と表現・伝達を通して、情報活用能力の重要性を理解する。 個別目標： 1. さまざまな情報メディアを通して情報を活用・伝達する能力を身につける。 2. マルチメディアによる情報表現・伝達の手法を理解し、基本的ルールやモラルを身に付ける。 3. 情報表現における倫理やルールを理解し、情報セキュリティを実践できる。
関連科目	情報処理
成績評価方法・基準	演習課題（授業毎のプレゼンテーションと課題提出70%、リアクションペーパー30%）100%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	この授業では、インターネットを使って、様々な社会的課題について情報収集し、それを整理・分析し、さらに表現・伝達する過程を演習の形で学習する。授業の学習効果を高めるためには、常々現代社会や医療分野における様々な状況や課題等について、関心をもつことが大切である。関連する項目を1時間程度の事前学習で理解し、併せて関連サイトを自己学習することが望まれます。
教科書・参考書	テキストは使用しません。
オフィス・アワー	未定
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint) ウェブブラウザをインストールしたPC (WindowsPC、Mac等) を持参してください。

講義科目名称： 大学の学び入門

授業コード： 4N031

英文科目名称： Introduction to College Learning

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
杉田 雅子	星野修平	榎本光邦	峯村優一

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 科目の説明、大学生の学習・生活、アカデミック・スキルとスチューデント・スキル 科目の目的・目標・進め方の説明、 高校生までの学習・生活と大学生の学習・生活の違い、アカデミック・スキル、スチューデント・スキルとは</p> <p>第2回 調べる 情報を探す、情報の宝庫図書館の使い方</p> <p>第3回 インターネットリテラシー1 インターネット利用のルールとマナー (1)</p> <p>第4回 インターネットリテラシー2 インターネット利用のルールとマナー (2)</p> <p>第5回 聞く・ノートを取る・読む1 講義の聞き方、ノートの取り方、本や資料の読み方(1)</p> <p>第6回 読む2・考える 本や資料の読み方(2)、考える力をつけるには</p> <p>第7回 書く：レポートの書き方1 レポートとは何か、レポート作成の手順、よいレポートとは</p> <p>第8回 書く：レポートの書き方2 論文作法</p> <p>第9回 書く：レポートの書き方3 講義レポートの形式</p> <p>第10回 自分自身の課題を見つける 入学以来の自身の学習と生活を検証し、学習、生活両面の自己課題を見出す</p> <p>第11回 相手の話を聴く ロールプレイを通して基本的なカウンセリングの技法を体験する</p> <p>第12回 自分の気持ちや考えを伝える グループワークを通し、自分の感情や意思をわかり易く伝える練習をする</p> <p>第13回 協力して作業する これまでのワークを通して身につけたスキルを活用し、周囲と協力して課題を達成する</p> <p>第14回 アカデミック・スキルの実践 (1) 聞く・考えることの実践 ゲストスピーカー：樋口建介理事長</p> <p>第15回 アカデミック・スキルの実践 (2) 聞く・考えることの実践 ゲストスピーカー：栗田昌裕学長、國元文生群馬パース病院長</p>	<p>杉田雅子</p> <p>杉田雅子</p> <p>星野修平</p> <p>星野修平</p> <p>杉田雅子</p> <p>杉田雅子</p> <p>峯村優一</p> <p>峯村優一</p> <p>峯村優一</p> <p>杉田雅子</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>杉田雅子</p> <p>杉田雅子</p>
科目の目的	<p>大学での学習形態や学問に対する姿勢、大人としての生活態度を認識、理解し、高校生までの学習・生活から大学生の学習・生活に移行することができるように、基本的なスキル、姿勢を学ぶ。</p> <p>1. 与えられた知識や技術を身に付けていく高校までの学習から、自ら課題を見つけ、それを解決していく大学の学習のためのスキルの習得、姿勢の理解。</p> <p>2. 高校までの大人に守られた生活から、責任ある大人としての生活のためのスキルと姿勢の理解。</p> <p>【専門性の探究】</p>	
到達目標	<p>1. 大学での学習に必要な学習習慣・学習技術（アカデミック・スキル、情報処理に関するスキル、ルール、マナー）を理解し、授業やレポートで実践できる。</p> <p>2. 責任ある大人としての生活に必要な、基本的な生活習慣を身につけ、大学生活で実践できる。（スチューデント・スキル、コミュニケーションスキル）</p>	
関連科目	全科目	
成績評価方法・基準	杉田担当課題（10%、課題に対するフィードバックは次回の授業で行う）、星野担当課題（20%、課題に対するフィードバックはAAにて掲示を行う）、榎本担当意見文・感想文（30%、意見文・感想文の内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う）峯村担当小テスト（40%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回授業の重要事項を見直しておくこと。約45分間。	
教科書・参考書	なし。プリントを使用。	
オフィス・アワー	杉田：授業の前後、昼休み、4号館8階26研究室 星野：授業の前後、昼休み、4号館7階研究室	

	榎本：月、水、木、金の昼休み、1号館3階305、または、5号館学生相談室 峯村優一：授業の前後、昼休み、4号館8階研究室
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義資料はActive Academy上で配布しますので、各自プリントアウトして授業に持ってきてください。配布期間は授業の前後1週間。

講義科目名称： 解剖学 I

授業コード： 4N032

英文科目名称： Anatomy I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅見知市郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 序論 1 解剖学とは何か 器官とその系統 上皮組織 支持組織 第2回 序論 2 筋組織 神経組織 人体の外形と方向用語 第3回 骨格系 1 骨格とは何か 骨の形 骨の構造 骨の発生と成長 骨の連結・関節 第4回 骨格系 2 頭部の骨 脳頭蓋 顔面頭蓋 鼻腔・副鼻腔 第5回 骨格系 3 脊柱 胸郭 上肢帯の骨 上腕の骨 第6回 骨格系 4 前腕の骨 手の骨 下肢帯の骨 骨盤 大腿の骨 下腿の骨 足の骨 第7回 筋系 1 筋の構造と機能 頭頸部の筋 第8回 筋系 2 胸腹部の筋 上肢帯の筋 上腕の筋 前腕の筋 手の筋 第9回 筋系 3 下肢帯の筋 大腿の筋 下腿の筋 足の筋 第10回 神経系 1 神経系の構成 中枢神経系 (脊髄 延髄 橋 小脳) 第11回 神経系 2 中枢神経系 (中脳 間脳 大脳) 第12回 神経系 3 脳の血管 脳室 脳脊髄膜 脳脊髄液 第13回 神経系 4 末梢神経 (脳神経) 第14回 神経系 5 末梢神経 (脊髄神経) 第15回 神経系 6 自律神経 (交感神経 副交感神経) 伝導路 (反射路 求心性伝導路 遠心性伝導路)	浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎
科目の目的	看護職としての基本知識となる運動器・神経系の肉眼解剖学的構造を習得する。【対象の理解】	
到達目標	骨格・筋・神経系の基本的な構造を説明できる。	
関連科目	解剖学Ⅱ 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ	
成績評価方法・基準	試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyで事前配布するレジュメを理解に努めながら通読すると、概ね1時間かかるはずである。	
教科書・参考書	教科書：「入門人体解剖学」藤田恒夫（南江堂） 参考書：特に無し	
オフィス・アワー	講義終了後の休み時間に教室で質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する (asami@paz.ac.jp)。	
国家試験出題基準	《必修問題》Ⅲ-10-A-b, c 《人体の構造と機能》ⅠⅡ-1-A-a, b, c D-a, b, c, d 3-A-a, b B-a, b, c, d, e, f, g, h, i C-a, b, c, d 4-A-a, b, c B-a C-a, b, c	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによるレジュメの配布期間：講義の1週間前から学期末まで。 ダウンロードしてPCを持参してもよいが、授業中のPC操作は好ましくないため、できるだけプリントアウトして持参してください。	

講義科目名称： 解剖学Ⅱ

授業コード： 4N033

英文科目名称： AnatomyⅡ

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅見知市郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 脈管系1 血管系総論 心臓 刺激伝導系 心臓の血管(冠状動脈) 第2回 脈管系2 肺循環と体循環 動脈系 静脈系 第3回 脈管系3 胎生時の循環系 リンパ系(リンパ節 リンパ本幹) 脾臓 胸腺 第4回 脈管系4 消化器系1 血液 血球 造血器官 内臓学総論(粘膜 腺) 口腔(歯) 第5回 消化器系2 口腔(口蓋 舌 唾液腺) 咽頭 食道 第6回 消化器系3 胃 小腸(十二指腸 空腸 回腸) 第7回 消化器系4 大腸(盲腸 結腸 直腸) 肝臓 胆嚢 膵臓 第8回 呼吸器系1 鼻腔 副鼻腔 喉頭 気管 気管支 第9回 呼吸器系2 泌尿器系 肺 胸膜 腎臓 尿管 膀胱 尿道 第10回 生殖器系1 男性生殖器(精巣 精巣上体 精管 精嚢 前立腺 陰茎 精液 精子) 第11回 生殖器系2 女性生殖器(卵巣 卵管 子宮 膣 外陰部 胎盤) 腹膜 第12回 内分泌系 内分泌器(下垂体 松果体 甲状腺 上皮小体 副腎 膵島) 第13回 感覚器系1 視覚器(眼球 眼球の付属器) 第14回 感覚器系2 平衡聴覚器(外耳 中耳 内耳) 第15回 感覚器系3 皮膚(表皮 真皮 皮下組織 角質器 皮膚の腺) 人体の発生のあらまし	浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎
科目の目的	看護職としての基本知識となる脈管・内臓・発生の肉眼解剖学的構造を習得する。【対象の理解】	
到達目標	脈管・内臓の基本的な構造と発生学について説明できる。	
関連科目	解剖学Ⅰ 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ	
成績評価方法・基準	試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyで事前配布するレジユメを理解しながら通読すると、概ね1時間かかるはずである。	
教科書・参考書	教科書：「入門人体解剖学」藤田恒夫(南江堂) 参考書：特に無し	
オフィス・アワー	講義終了後の休み時間に教室で質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する(asami@paz.ac.jp)	
国家試験出題基準	【看護師】 《必修問題》-Ⅲ-10-A-d, e, f, h, i, k, m, n 《人体の構造と機能》-ⅠⅡ- 5-A-a, b, c B-a, b, c, d, e, f C-a, b D-a, b E-a F-a G-a 6-A-a, b, c B-a, b, c, d, e, f, g, h C-a, b 9-A-b, d 10-A-a, b B-a, b C-a 11-A-a, b, c, d, e B-a, b, c, d, e, f, g, h, i, j 13-A-a, b, c C-a, b, c 15-C-a, b, c, d, e, f, g, h, i, j 16-A-a, b, d, c, d, e, f, g B-a, b, c C-a, b, c	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによるレジユメの配布期間：講義の1週間前から学期末まで。 ダウンロードしたPCを持参してもよいが、授業中のPC操作は好ましくないので、できるだけプリントアウトして持参してください。	

講義科目名称： 臨床解剖学

授業コード： 4N034

英文科目名称： Clinical Anatomy

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
浅見知市郎			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 生理学 I

授業コード： 4N035

英文科目名称： Physiology I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス 生理学の基礎の基礎 生理学講義を受講するにあたって 細胞・組織・器官 第2・3回 神経の基本的機能 神経細胞の形態、興奮伝導、興奮伝達 第4・5回 筋肉の基本的機能 筋細胞の形態と興奮、骨格筋の収縮 第6-8回 神経系の機能 末梢神経系(体性神経系、自律神経系)、中枢神経系、運動機能の調節 第9-12回 感覚の生理学 様々な感覚の受容と知覚のメカニズム 第13-15回 睡眠・記憶・情動 脳の高次機能	洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー【対象の理解】に相当)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	解剖学 I・II、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に小テストを行う(解答・解説はAAにて行う) 小テストの平均点×0.7+期末テストの点数×0.3 で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および小テストや期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学 第7版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂) 参考書：「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	講義実施日の18:00~19:00	
国家試験出題基準	≪人体の構造と機能≫-II-1-A-a, b, c ≪人体の構造と機能≫-II-1-B-a, b, c ≪人体の構造と機能≫-II-2-A-a ≪人体の構造と機能≫-II-2-B-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-3-C-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-4-A-a ≪人体の構造と機能≫-II-4-B-a, b, c, d, e, f, h, i ≪人体の構造と機能≫-II-4-C-a, b, c, d ≪人体の構造と機能≫-II-5-A-a, b, c, d ≪人体の構造と機能≫-II-5-B-a, b, c, d, f ≪人体の構造と機能≫-II-5-C-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-5-D-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-5-E-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-5-F-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-5-G-b	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	

講義科目名称： 生理学Ⅱ

授業コード： 4N036

英文科目名称： Physiology II

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1・2回 内分泌系の機能 ホルモンの一般的特徴、内分泌器官の機能 第3-5回 循環の生理学 心臓血管系の基本構造と機能、調節 第6・7回 呼吸の生理学 呼吸器系基本構造と機能、調節 第8・9回 尿の生成と排泄および体液とその調節 腎臓の構造と機能、調整、尿生成、蓄尿と排尿、体液の恒常性を維持する仕組み 第10・11回 消化と吸収 消化管の基本構造と機能、調節 第12・13回 血液の生理学 血液の組成とその機能 第14・15回 体温とその調節 体温の意義とその調節メカニズム	洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー【対象の理解】に相当)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に小テストを行う(解答・解説はAAにて行う) 小テストの平均点×0.7+期末試験の点数×0.3 で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および小テストや期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学 第7版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂) 参考書：「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	講義実施日の18:00~19:00	
国家試験出題基準	≪人体の構造と機能≫-II-6-A-a, b, c, d ≪人体の構造と機能≫-II-6-B-a, b, c, d, g ≪人体の構造と機能≫-II-7-A-a, b, c, d ≪人体の構造と機能≫-II-7-B-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-7-C-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-8-A-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-8-B-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-9-A-c, d ≪人体の構造と機能≫-II-9-B-a, b, c, d, e ≪人体の構造と機能≫-II-10-A-a, c, d ≪人体の構造と機能≫-II-10-B-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-10-C-a, b, c, d ≪人体の構造と機能≫-II-11-A-d, e ≪人体の構造と機能≫-II-11-B-a, b, e, f, g, h ≪人体の構造と機能≫-II-13-A-a, b, c ≪人体の構造と機能≫-II-13-B-a, b, c, d ≪人体の構造と機能≫-II-13-C-b, d, e ≪人体の構造と機能≫-II-14-A-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-14-B-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-15-A-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-15-B-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-15-C-a, b, c, d, e, f, g, h, i, j ≪人体の構造と機能≫-II-16-A-d ≪人体の構造と機能≫-II-16-B-a, b	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	

講義科目名称： 臨床生理学

授業コード： 4N037

英文科目名称： Clinical Physiology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 生化学

授業コード： 4N038

英文科目名称： Biochemistry

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 鮎子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 生化学を学ぶための基礎 生化学で基礎となる生体構成成分，単位，臨床化学への応用	木村 鮎子
	第2回 糖質 糖質の基礎（構造，異性体），糖質の分類（二糖類，多糖類，複合糖質）	木村 鮎子
	第3回 脂質 脂質の基礎，脂質の分類（単純脂質，複合脂質，誘導脂質，その他の脂質）	木村 鮎子
	第4回 タンパク質とアミノ酸 アミノ酸（構造と種類，特徴），ペプチド結合，タンパク質（分類，構造，性状）	木村 鮎子
	第5回 酵素 酵素の分類と性質，酵素反応速度論，酵素活性の調節	木村 鮎子
	第6回 核酸 核酸の基礎（構造等），核酸の種類，遺伝子	木村 鮎子
	第7回 ビタミン ビタミンの分類（脂溶性ビタミン，水溶性ビタミン），ビタミン欠乏症	木村 鮎子
	第8回 ホルモン ホルモンの分類とその機能，各種ホルモンによる生体調節，ホルモンと疾患との関係	木村 鮎子
	第9回 ミネラル ミネラルの生理的意義，多量ミネラル（Na, K, Cl等），微量ミネラル（Fe, Zn等）	木村 鮎子
	第10回 糖質代謝（1） 糖代謝の概要，糖の消化と吸収，解糖系，TCA回路	木村 鮎子
	第11回 糖質代謝（2） 糖新生，グリコーゲン合成と分解，ペントースリン酸回路，糖代謝異常と疾患	木村 鮎子
	第12回 脂質代謝 脂肪酸の生合成と酸化，ケトン体，各脂肪酸の代謝，コレステロールの合成・輸送・蓄積，代謝異常	木村 鮎子
	第13回 タンパク質の分解とアミノ酸代謝 タンパク質の分解とアミノ酸プール，アミノ酸代謝（エネルギー源，尿素生成），代謝異常	木村 鮎子
	第14回 核酸代謝 核酸の生合成と分解	木村 鮎子
	第15回 生体エネルギー、中間代謝とまとめ 高エネルギーリン酸化化合物，呼吸鎖と酸化的リン酸化，3大栄養素の代謝の相互関係とまとめ	木村 鮎子
科目の目的	生体物質の構造，機能とその代謝を学び，病態に対する生化学の基礎知識を習得する。【対象の理解】	
到達目標	1. 糖質とその代謝，脂質とその代謝，タンパク質とその分解，アミノ酸代謝，核酸とその代謝，生体エネルギーについて，生合成や代謝の過程が理解できること。 2. 生体内でのビタミン，ホルモン，ミネラルの役割が理解できること。	
関連科目	化学, 生物学, 生理学, 薬理学	
成績評価方法・基準	筆記試験（100%）により評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容が理解できるよう，事前に教科書を30分程読んでおく。	
教科書・参考書	教科書：加藤 秀夫・中坊 幸弘；栄養科学シリーズNEXT生化学（講談社サイエンティフィク） 参考書：菌田 勝 編；栄養科学イラストレイテッド生化学 改定第3版（羊土社） 中元 伊知郎；自分で作る生化学ワークノート（MCメディカ出版） 宮澤 恵二；ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能② 臨床生化学（MCメディカ出版）	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受ける。個別の相談は，事前連絡(ay-kimura@paz.ac.jp)によって随時対応する。	

国家試験出題基準	人体の構造と機能-1-A, 1-B, 1-E, 12-B, 13-A, 13-B, 13-C,
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称： 病理学

授業コード： 4N039

英文科目名称： General Pathology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡山 香里			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 病理学序論・組織細胞障害と修復機構1 病理学とは、変性	岡山香里
	第2回 組織細胞障害と修復機構2 アポトーシス、壊死	岡山香里
	第3回 組織細胞障害と修復機構3 再生、化生、瘢痕治癒	岡山香里
	第4回 物質代謝異常1 糖質代謝異常	岡山香里
	第5回 物質代謝異常2 脂質代謝異常	岡山香里
	第6回 物質代謝異常3 核酸代謝異常、生体内色素代謝異常、無機物代謝異常	岡山香里
	第7回 循環障害 1 循環血液量の異常	岡山香里
	第8回 循環障害2 閉塞性の循環障害	岡山香里
	第9回 循環障害3 傍側循環、全身性の循環障害	岡山香里
	第10回 炎症1 炎症とは、炎症の分類、炎症の経過	岡山香里
	第11回 炎症2 炎症の各型、自己免疫性疾患	岡山香里
	第12回 先天異常 遺伝子・染色体異常と発生発達異常	岡山香里
	第13回 腫瘍1 定義、分類、良性腫瘍と悪性腫瘍	岡山香里
	第14回 腫瘍2 腫瘍の発生、発育、分化度	岡山香里
	第15回 腫瘍3 腫瘍の発生要因、腫瘍の種類	岡山香里
科目の目的	病理学とは疾病の原因、発生メカニズムなど、疾病の本態を解明する学問である。病理学総論として代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍について疾病で生じる変化、経過、疾病の予後を捉え、理解ができるようにする。【対象の理解】	
到達目標	1. 疾病の原因、経過、治療法、予後を説明できる。 2. 疾病の検査事項を説明できる。 3. 疾病の病理所見を説明できる。	
関連科目	解剖学Ⅰ，解剖学Ⅱ	
成績評価方法・基準	定期試験100%により成績を評価する。試験形態は筆記試験とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習、復習を行うこと。準備学習に必要な時間は1時間程度とする。	
教科書・参考書	教科書：講師が配布する資料（授業ごとに配布する） 参考書：なるほどなっとく！病理学 病態形成の基本的な仕組み 小林正伸著 南山堂	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡(okayama@paz.ac.jp)によって随時対応する。	
国家試験出題基準	≪必修問題≫-I-2-B-abc ≪必修問題≫-III-11-A-a [~] x, B-abcd ≪人体の構造と機能≫-I. II-9-A-abcd, B-abcde, 16-D-ab ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-I-1-A-ab, B-ab ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-II-2-A-abc, B-abc, C-abcdefg, D-abcde ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-II-3-A-a, B-abc, C-abcdefg, D-abcdefghi, E-abcd	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 薬理学

授業コード： 4N040

英文科目名称： Pharmacology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
栗田 昌裕			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 薬理学とは 薬理学の基本知識。薬物治療に影響を与える因子。	栗田昌裕
	第2回 薬物動態 投与経路と薬の吸収。分布、代謝、排泄。	栗田昌裕
	第3回 麻酔薬と中枢興奮薬 全身麻酔薬。局所麻酔薬。中枢興奮薬。	栗田昌裕
	第4回 解熱鎮痛薬・抗炎症薬と麻薬 解熱鎮痛薬・抗炎症薬。麻薬性鎮痛薬・麻薬拮抗性鎮痛薬。	栗田昌裕
	第5回 向精神薬と抗痙攣薬 向精神薬。抗痙攣薬（抗てんかん薬）。 筋弛緩薬と抗パーキンソン薬 筋弛緩薬の作用と応用。パーキンソン症候群の理解と抗パーキンソン薬の作用。	栗田昌裕 栗田昌裕
	第6回 自律神経薬 自律神経の基礎知識。 コリン作動薬とコリン作動性効果遮断薬。 アドレナリン作動薬とアドレナリン遮断薬。	栗田昌裕
	第7回 オータコイド オータコイドの種類とその作用。プロスタグランディンの臨床応用。	栗田昌裕
	第8回 強心薬 強心薬（ジギタリス）の投与方法。ジギタリスの副作用とその対策。 抗狭心症薬と抗不整脈薬 狭心症治療薬の作用と投与方法。不整脈の分類と治療。抗不整脈薬の種類。	栗田昌裕 栗田昌裕
	第9回 利尿薬と降圧薬 利尿薬。利尿薬の臨床的応用。降圧薬。抗動脈硬化薬。	栗田昌裕
	第10回 消化器病薬と駆虫薬 消化性潰瘍治療薬。健胃・消化薬。消化管運動促進薬。 制吐薬。下痢と止痢薬。潰瘍性大腸炎・クローン病治療薬。駆虫薬。	栗田昌裕
	第11回 呼吸器病薬 呼吸器病薬。抗結核薬。	栗田昌裕
	第12回 内分泌薬 下垂体ホルモン・甲状腺ホルモン・糖尿病治療薬。 副腎皮質ホルモン・男性ホルモン・生殖系内分泌薬。	栗田昌裕
	第13回 血液病薬と抗癌薬 貧血の薬。止血薬。抗血栓療法薬。 抗癌薬の開発と化学療法。抗癌薬の副作用と組み合わせ。	栗田昌裕
	第14回 化学療法薬と免疫療法薬 化学療法薬。抗ウイルス剤。免疫について。免疫療法。	栗田昌裕
	第15回 消毒薬 滅菌・消毒法。消毒薬の濃度と殺菌速度。	栗田昌裕
科目の目的	ディプロマ・ポリシーとの関連では、「社会人としての教養と人の健康にかかわる幅広い知識に裏打ちされた、看護実践に必要な基本的知識」を得ることを目的とする科目である。具体的には、医療の中で投薬（服薬、注射、輸液、外用など）の役割は大きい。そこで、医療に携わる者は「薬物の種類とその作用に関する基本的な知識」を持ち、しかもそれに「的確な理解」が伴っている必要がある。薬理学ではそれらを見通しよく学習する。具体的にはその内容は以下の通りである。1) 薬理学の役割、構成、新薬の開発、医薬品の歴史、など薬理学の基本的知識を学ぶ。2) 薬物治療に影響を与える因子として、生体側、薬物側の因子を学び、副作用に関しても学ぶ。3) 薬の生体内運命と薬効との関係を学ぶ。ここでは、投与経路と吸収、分布・代謝・排泄に関して学ぶ。4) 薬物の種類と作用メカニズムの概略を系統的に学ぶ。【対象の理解】	
到達目標	薬物動態に関する基本的知識を得ること、薬物の作用機序による分類を知ること、主要な薬剤の適用に関する基礎的知識を持つこと、禁忌に関して学ぶこと。以上に関して、看護の実践に必要なとされるレベルに到達することを目標とする。	
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	試験（100％）。	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	短期間の間に広範な内容を学ぶことになるので、毎回の講義で学んだことをよく復習することが望ましい。その際に、これまでに学んだ疾患に関する知識をよく思い出し、関連付けを明確にしておこう。それが次回の内容を受け入れやすくなり、準備学習を兼ねることになる。復習時間は約1時間。
教科書・参考書	教科書：使用しない。 参考書：「系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進3」（医学書院）。
オフィス・アワー	火曜日の昼休み。
国家試験出題基準	【看護師】 《疾病の成り立ちと回復の促進》-III-4-B-a~d 《必修問題-3》-III-12-Aa~o 《必修問題-3》-III-12-B`a~c
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を事前配布します。配布期間は「授業前日から授業日まで」。持参方法は「各自印刷して授業に持参すること」。

講義科目名称： 臨床薬理学

授業コード： 4N041

英文科目名称： Clinical Pharmacology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
栗田 昌裕			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 栄養学(含食品学)

授業コード： 4N042

英文科目名称： Nutrition (inc. Food Science)

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
後藤 香織			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 栄養学の目的 栄養と健康 食と私たち 食育を忘れないで 食育の必要性	後藤 香織
	第2回 人類の進化と食事 自分たちの今の状況を把握せよ	後藤 香織
	第3回 献立とはどういうもの 献立とはなにか どうして重要なのか	後藤 香織
	第4回 主食と糖質 糖質についての詳細	後藤 香織
	第5回 タンパク質 たんぱく質についての詳細	後藤 香織
	第6回 脂質について 脂質についての詳細	後藤 香織
	第7回 ビタミンについて ビタミンの種類と詳細	後藤 香織
	第8回 ミネラルについて ミネラルについての詳細	後藤 香織
	第9回 美味しさの秘密 美味しいとはどういうこと	後藤 香織
	第10回 計算をしてみよう～エネルギー必要量の計算 自分の使ったエネルギーの計算をします	後藤 香織
	第11回 計算をしてみよう～ その2 食べるもののエネルギーを計算します	後藤 香織
	第12回 食物繊維、サプリは必要か、色 今までの講義での補足	後藤 香織
	第13回 時間栄養学 摂取する時間で変わる代謝	後藤 香織
	第14回 スポーツ栄養学と病気と栄養 スポーツと献立 嚥下障害 病気の時はどうしたらいいのか	後藤 香織
	第15回 まとめ 1回から14回までの内容の確認と復習	後藤 香織
科目の目的	捕食という行動は全てを中心であることを深く理解し、人が食べるという行為をどれだけ重要に考えなくてはならないかを知り、人体が必要とする栄養素を学ぶ。さらに自身の摂取エネルギーと消費エネルギーから必要な栄養量、栄養素、運動、休養を求め、よりよい健康状態を保つことを身に漬ける方法を学ぶ。国の施策である「食育」が大学生には危機的な状況であることを知り改善する為に、栄養・休養・運動の三要素を含めて解説する。本学のディプロマポリシーに沿い、保健医療専門職としての栄養学の基礎的知識と、社会人としての食に関する教養を身につけ、食に関する多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解し、保健医療分野と栄養学との関係を見出し、科学的洞察による的確な判断ができ、先進・高度化する栄養分野の基本的知識と技術を提供することや、栄養補給に関わるコミュニケーション能力を身につけ、生涯にわたって栄養に関する知識を身に付けて、自身が健康に過ごすことを身に付け、それを社会に貢献させる。【対象の理解】	
到達目標	基礎医学（解剖学、生理学、生化学）に関連した栄養学の基礎を学ぶ。また日々の食品摂取の判断ができるようにする。 栄養素と消化、吸収、代謝に関わる知識の習得、一日の消費カロリーの計算、一日の摂取エネルギーの計算、運動時の代謝、和食の伝統文化、美味しく感じる為の脳科学的方法を身につけます。 <ul style="list-style-type: none"> ・栄養学の基礎的知識と教養を身につけている。 ・栄養に関わる多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している。 ・栄養分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる。 ・栄養学分野の基本的技術を提供することができる。 ・NSTを実践するための、コミュニケーション能力を身につけている。 ・生涯にわたって栄養分野を探索し、その発展に貢献する意欲を持っている。 ・人と社会に深い関心を持って、地域の栄養保健医療に寄与できる。 ・人権を尊重し、高い倫理観を持って社会に貢献する姿勢を身につけている。 	
関連科目	①解剖学Ⅰ・Ⅱ ②生化学 ③生理学Ⅰ・Ⅱ ④病理学	
成績評価方法・基準	定期試験85%（定期試験を85点満点とする） ミニテスト15%	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	高校の生物学および、解剖学、生理学とを見直しておく。 成分表の後半のページを読んでおく。20分予習する。
教科書・参考書	教科書：オールガイド食品成分表2022（実教出版） 参考書：新体系看護学 人体の構造と機能2 栄養生化学（メジカルフレンド社） 看護栄養学（医歯薬出版） リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎 第2版 栢下淳・若林秀隆 編著（医歯薬出版）
オフィス・アワー	授業の前後
国家試験出題基準	【看護師】 ≪必修問題≫-Ⅰ-2-C-b ≪人体の構造と機能≫-ⅠⅡ-12-A-ab ≪疾病の成り立ちと回復の促進≫-Ⅲ-9-A-abcdefg ≪成人看護学≫-Ⅲ-11-A-c
履修条件・履修上の注意	特になし

講義科目名称： 病態栄養学

授業コード： 4N043

英文科目名称： Clinical Nutrition

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
後藤 香織			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 臨床病態学 I

授業コード： 4N044

英文科目名称： Clinical Pathophysiology I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 臨床病態学Ⅱ

授業コード： 4N045

英文科目名称： Clinical Pathophysiology II

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 臨床病態学Ⅲ

授業コード： 4N046

英文科目名称： Clinical Pathophysiology III

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 臨床病態学IV

授業コード： 4N047

英文科目名称： Clinical Pathophysiology IV

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
秋元かつみ			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 免疫・感染症学

授業コード： 4N048

英文科目名称： Immunology and Infectious Diseases

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
高橋 克典			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 臨床検査学

授業コード： 4N049

英文科目名称： Clinical Laboratory Medicine

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
三浦 佑介			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 発達心理学

授業コード： 4N050

英文科目名称： Developmental Psychology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
榎本 光邦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 臨床心理学

授業コード： 4N051

英文科目名称： Clinical Psychology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
榎本 光邦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 緩和医療学

授業コード： 4N052

英文科目名称： Palliative Medicine

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
斎藤 龍生			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 公衆衛生学

授業コード： 4N053

英文科目名称： Public Health

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
一戸 真子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 公衆衛生の理解 公衆衛生学の特徴 健康の概念の変遷、予防の概念、ヘルスプロモーション、プライマリヘルスケア	一戸 真子
	第2回 人口と公衆衛生 世界人口の動向、日本の少子高齢化の進行、WHO	一戸 真子
	第3回 健康指標と保健統計 人口静態・人口動態、年齢調整死亡率、平均寿命、健康寿命	一戸 真子
	第4回 疫学1 疫学概念、記述疫学、分析疫学、臨床疫学、EBM	一戸 真子
	第5回 疫学2 系統誤差、バイアスとその除去、相対危険度、寄与危険度、因果関係論、スクリーニングの意義	一戸 真子
	第6回 感染症総論 感染症発生の3要因と予防の原則、新興・再興感染症、1類感染症、予防接種	一戸 真子
	第7回 感染症各論 結核、エイズ、エボラ出血熱、インフルエンザ、新型コロナウイルス	一戸 真子
	第8回 母子保健 成人保健 乳児死亡率・妊産婦死亡率 がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病等生活習慣病	一戸 真子
	第9回 老人保健福祉 学校保健 健康増進法、後期高齢者医療制度、介護保険法、医療介護総合確保推進法、学校保健安全法	一戸 真子
	第10回 精神保健 精神保健のあゆみ、精神障害の種類、入院治療の形式、精神保健福祉対策、アルコール・薬物依存、自殺予防	一戸 真子
	第11回 生活環境、環境と健康、環境基準、地球環境問題 公害と防止対策、公害健康被害補償の原則、地球温暖化対策、循環型社会	一戸 真子
	第12回 栄養と食品衛生 食中毒発生状況の変遷、食中毒の種類と予防法、HACCP、健康日本21	一戸 真子
	第13回 産業保健 労働環境、職業病の種類と予防法、労働安全衛生	一戸 真子
	第14回 衛生行政と社会保障 保健所と区市町村保健センター、社会保障概要	一戸 真子
	第15回 医療行政概要 医療法改正の動向、医療計画、地域医療連携の推進、救急医療体制の整備、医療人材・医療資源の国際比較	一戸 真子
科目の目的	健康及び公衆衛生の基本的概念を学習する。タテ系である各種疾患対策、環境対策とヨコ系である統計、疫学、健康教育、試験検査などが織りなす総合科学であり、活動であることを理解する。 【対象の理解】	
到達目標	1. 生活者の健康の保持・増進を目的とする公衆衛生活動を理解する。 2. 公衆衛生活動は、政治、経済、社会の動向と密接に関連していることを理解し、広い視野を養う。 3. 公衆衛生活動の基礎的技法として、集団からアプローチする疫学、保健統計、地域組織活動等を理解する。	
関連科目	生命倫理、環境学、疫学、保健統計、社会学、情報処理、免疫・感染症学	
成績評価方法・基準	試験70%、提出物30%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	「国民衛生の動向」は公衆衛生の現実社会を写している鏡である。 講義前に該当する事項に眼を通しておくことが望ましい。 準備学習に必要な学習時間の目安 1コマあたり1時間	
教科書・参考書	【教科書】 「最新臨床検査学講座 公衆衛生学」照屋浩司他著（医歯薬出版） 「国民衛生の動向 2020/2021版」（一般財団法人 厚生労働統計協会） 【参考書】 特になし	

オフィス・アワー	講義の前後（場所：非常勤講師室）
国家試験出題基準	<p>【看護師】</p> <p>《必修問題》Ⅰ-1-A-abcdefghi, B-abcdef、Ⅰ-2-B-abc</p> <p>《健康支援と社会保障制度》Ⅲ-8-A-abcde, B-abc, C-abc、Ⅲ-9-A-abcdefgh, B-abcdefghi、Ⅲ-10-A-abcdef, B-abc, C-abc, D-ab</p> <p>【保健師】</p> <p>《公衆衛生看護学概論》ⅠⅡ-3-A-ab, B-ab</p>
履修条件・履修上の注意	新型コロナウイルスの蔓延により、公衆衛生の重要性がより高まっているので、しっかり学んで欲しい。

講義科目名称： 疫学

授業コード： 4N054

英文科目名称： Epidemiology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
宮崎有紀子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 保健統計

授業コード： 4N055

英文科目名称： Statistics

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
宮崎有紀子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 社会福祉・社会保障制度論

授業コード： 4N056

英文科目名称： Social Welfare and Social Insurance System

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
矢島 正栄			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 地域保健行政

授業コード： 4N057

英文科目名称： Community Health Administration

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
小林 亜由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： リハビリテーション概論

授業コード： 4N058

英文科目名称： Introduction to Rehabilitation Science

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
村田 和香			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： カウンセリング

授業コード： 4N059

英文科目名称： Counseling

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
榎本 光邦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 看護学概論 I

授業コード： 4N060

英文科目名称： Introduction to Nursing I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス・看護とは（1） 看護の定義と役割、看護の特徴と社会的責任について学ぶ。 第2回 看護とは（2） 看護の主要概念である人間、健康、環境について学ぶ。 第3回 看護とは（3） 看護の主要概念である人間、健康、環境について学ぶ。 第4回 看護の対象 看護の対象の捉え方、ライフサイクルと健康について学ぶ。 題5回 看護の提供者（1） 職業としての看護の確立までの歴史の変遷と、資格・養成制度について学ぶ。 第6回 看護の提供者（2） 安全で安心な看護を提供するための方法について学ぶ。 第7回 看護における倫理 倫理、道徳、法の理解を前提とした看護倫理を学ぶ。 第8回 看護職を取り巻く法的側面 保健師助産師看護師法をはじめとする看護の関連法規について学ぶ。	萩原 一美 萩原 一美 萩原 一美 萩原 一美 萩原 一美 萩原 一美 萩原 一美 萩原 一美
科目の目的	看護の歴史の変遷を踏まえ、看護学の主要概念である「人間」「環境」「健康」「看護」を掘り下げて学ぶことにより、看護とは何かを考察する。また、看護の対象を理解した上で、看護提供者としての役割と責務を看護に関連する法律と関連づけて理解する。【対象の理解】 【国際的な視野】	
到達目標	1. 看護の主要概念（健康・環境・人間・看護）について説明できる。 2. 看護の歴史と変遷について説明できる。 3. 看護提供者としての役割と責務を関連法規と結び付けて説明できる。 4. 看護とは何かについて自己の考えを表現できる。	
関連科目	基礎看護技術演習、看護学概論Ⅱ、看護過程論演習、日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、治療援助学演習をはじめとする看護学全般の基盤となる	
成績評価方法・基準	筆記試験（80％）、課題レポート（20％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容に沿って、教科書の該当ページを読み、理解できない内容を明確にして授業に臨むこと。1コマあたり約120分の事前学習と復習が必要。	
教科書・参考書	教科書：系統看護学講座 専門分野 看護学概論 基礎看護学1 茂野 香おる 吉岡 京子 他 医学書院 参考書：特になし	
オフィス・アワー	萩原 一美：授業の前後の時間	
国家試験出題基準	≪必修問題≫-Ⅰ-4-C、5-A,B、Ⅱ-6-A,B、9-A-a～e、B-b ≪健康支援と社会保障制度≫-Ⅳ-12-A、B-a,b、C-a～d、h ≪基礎看護学≫-Ⅰ-1-A～D、2-A,B、Ⅲ-6-A-b,c、B-a～c	
履修条件・履修上の注意	予習、復習し、主体的に授業に臨むこと。	

講義科目名称： 看護学概論Ⅱ

授業コード： 4N061

英文科目名称： Introduction to NursingⅡ

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原一美	萩原一美	長嶺めぐみ	

授業形態	講義（6回）・演習（2回）		担当者
授業計画	第1回 看護理論（1）講義 看護の理論家にもみる看護の定義を学ぶ。	萩原一美	萩原一美
	第2回 看護理論（2）演習 看護理論家の主要概念と看護の視点を学ぶ。	萩原一美	萩原一美
	第3回 国民の健康・生活 講義 国民の健康・生活の全体像を把握し、現代の日本人の健康と生活を考える。	萩原一美	萩原一美
	第4回 看護における倫理（1）講義 前期の看護倫理をさらに発展させて、看護倫理を深める。	萩原一美	萩原一美
	第5回 看護における倫理（2）演習 看護倫理とは何か、看護における倫理の必要性を考察する。	萩原一美	萩原一美
	第6回 広がる看護の活動領域：講義 国際看護、災害看護の基礎知識および看護の役割・活動について学ぶ。	長嶺めぐみ	長嶺めぐみ
	第7回 広がる看護の活動領域：講義 国際看護、災害看護の基礎知識および看護の役割・活動について学ぶ。	長嶺めぐみ	萩原一美
	第8回 医療安全・看護の継続性と多職種連携 講義 医療安全の視点から医療事故における法的責任について学ぶ。 チーム医療における医療安全と多職種連携について学ぶ。	萩原一美	
科目の目的	「看護学概論Ⅰ」の学習を踏まえ、看護の基盤になる理論、方法について学習する。看護の見方・考え方の基盤として看護理論について学習し、看護学の特徴や看護実践への活用方法を理解する。また、倫理上の課題、医療事故の問題等について考え、看護師を目指すものとして現実の課題について関心をもつ。国際看護・災害看護の基礎知識および活動について理解する。 【対象の理解】 【国際的な視野】		
到達目標	1. 看護理論家の理論を構成する主要概念や特長について説明できる。 2. 看護の倫理原則及び倫理的概念について説明できる。 3. 看護の倫理的課題、医療安全の側面から社会における看護の役割について説明できる。 4. 国際看護・災害看護の基礎知識をふまえて看護の役割、機能について説明できる。		
関連科目	既習学習の基礎看護技術演習、看護学概論Ⅰ、同時進行の日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、2年次以降の看護過程入門、看護過程展開論演習、治療援助学演習をはじめとする看護学全般の基盤となる。		
成績評価方法・基準	筆記試験（80％） 課題レポート（20％）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容に沿って、教科書の該当ページを読み、理解できない内容を明確にして授業に臨むこと 1コマあたり約120分の事前学習と復習が必要。		
教科書・参考書	教科書：系統看護学講座 専門分野 看護学概論 基礎看護学① 茂野香おる，吉岡京子，他 医学書院 参考書：なし		
オフィス・アワー	上星浩子：授業の前後の時間 長嶺めぐみ：授業の前後の時間		
国家試験出題基準	《必修問題》-Ⅰ-4-A-C、Ⅱ-6-A、B 《健康支援と社会保障制度》- C-i 《基礎看護学》-Ⅰ-1-A~D、Ⅱ-3-D、I、3-F-a、4-A-a、b、Ⅲ-6-A-b、c、B-a~c		
履修条件・履修上の注意	予習・復習し、主体的に授業に臨むこと。		

講義科目名称： 基礎看護技術演習

授業コード： 4N062

英文科目名称： Practise in Basicaly Nursing Skills

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美	萩原一美	堀込由紀	長嶺めぐみ
	千葉今日子	森田綾子	

授業形態	講義7回、演習8回		担当者
授業計画	第1回	講義ガイダンス、看護技術・看護援助と看護援助を必要とする対象（講義） 看護技術と看護援助・看護行為の概念と成り立ちを学び、看護援助を必要とする対象を理解する。	萩原一美
	第2回	看護援助に共通する看護技術：観察と安全【目的・意義・方法・視点】（講義） 看護援助に共通する看護技術としての観察の意義・目的・方法を理解する。 看護援助を提供する際の医療安全の意義と確保を理解する（事前課題有） 医療職として必要な感染予防の知識を理解する。	萩原一美
	第3・4回	看護援助に共通する看護技術の実際：安全と安楽【感染予防】（演習） 医療職として必要な標準予防策（スタンダードプリコーション）を習得する。【事後課題有】	萩原一美、堀込由紀、長嶺めぐみ、千葉今日子、森田綾子
	第5回	看護援助に共通する看護技術：安全と安楽【ボディメカニクス・姿勢・体位・体位変換】（講義） 看護に必要な人間工学の知識を活用した、ボディメカニクス・作業域などを理解する。（事前課題有）	萩原一美
	第6.7回	看護援助に共通する看護技術の実際：安全と安楽【ボディメカニクス・姿勢・体位】（演習） ボディメカニクスを活用した安楽な体位と体位変換の援助技術を習得する。【事後課題有】 安楽な体位と、体位を変換する方法を学ぶ。 看護援助に必要な安楽性を考慮したポジショニング、姿勢と体位の目的・援助方法を技術を習得する。	萩原一美、堀込由紀、長嶺めぐみ、千葉今日子、森田綾子
	第8・9回	快適な療養環境を整える看護援助：【物理的・文化的・人的環境】（講義） 看護の対象と取り巻く環境の意味を理解し、健康的な生活環境を整える方法を理解する。（事前課題有）	萩原一美
	第10回	快適な療養環境を整える看護援助：【物理的・文化的・人的環境】（講義） 快適な病床環境を整える方法を理解する。	萩原一美
	第11・12回	快適な療養環境を整える看護援助の実際を学ぶ。：ベッドメイキング（演習） ボディメカニクスを活用した清潔で美しいベッドメイキングの技術をする。【事後課題有】	萩原一美、堀込由紀、長嶺めぐみ、千葉今日子、森田綾子
	第13・14回	快適な療養環境を整える看護援助の実際を学ぶ。：臥床患者のベッドメイキング（演習） ボディメカニクスを活用し、臥床患者のベッドメイキングの技術を習得する。【事後課題有】	萩原一美、堀込由紀、長嶺めぐみ、千葉今日子、森田綾子
	第15回	看護の対象の看護援助の必要性の視点を学ぶ。 看護技術を適切に実践するための要素を考察する。	萩原一美
科目の目的	看護援助の言葉の概念を理解し、対象者と看護師の援助の人間関係の基本を学ぶ。さらに対象者に適した看護援助を提供するための基本的看護技術の原理と根拠を学ぶ。 【看護の実践】		
到達目標	1. 看護技術・看護援助・看護行為の概念と看護援助を必要とする対象の特徴を説明できる。 2. 看護援助に共通する看護技術の原理とその根拠を説明できる。 3. 看護援助に必要な観察の重要性を説明できる。 4. 対象との援助的人間関係構築のプロセスを理論と関連付けて考えられる。 5. 看護援助に共通する安全の基本的な技術（感染予防・ボディメカニクス）を習得できる。 6. 安楽で快適な療養環境を整える援助技術（姿勢と体位・ベッドメイキング・病床整備）を習得できる。		
関連科目	関連する教養科目－心理学、教育心理学、社会学、生活文化と医療、環境学、 関連する専門基礎科目－解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、発達心理学、栄養学、 関連する専門科目－看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ、治療援助学演習、		

	ヘルスアセスメント、ヘルスアセスメント演習、コミュニケーション論 その他各看護学
成績評価方法・基準	筆記試験（70％）講義後のミニッツペーパー・演習事前課題（14％）・演習事後課題（16％）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容に沿った教科書該当ページを熟読して講義に臨むこと。 演習内容に沿った教科書該当ページを熟読して演習に臨むこと。 【学習に必要な自己時間の目安】 1コマ当たり30分の準備学習と30分の復習が必要。
教科書・参考書	教科書1：系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院 教科書2：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院
オフィス・アワー	【萩原】授業の前後（萩原研究室） 【堀込】授業の前後（堀込研究室） 【長嶺】授業の前後（長嶺研究室） 【千葉】授業の前後（千葉研究室） 【森田】授業の前後（森田研究室）
国家試験出題基準	《必修問題》Ⅰ-4-A-d, f Ⅰ-2-A-d, e、Ⅳ-13-A-a, b, c, Ⅳ-14-C-a, d, Ⅳ-15-A, b, c, Ⅳ-15-B-a, b, c, d, e, Ⅳ-15-C-a, b, f 《健康支援と社会保障制度》-Ⅲ-8-A-a, b, c, d, e, f 《基礎看護学》Ⅰ-2-A-a, b, c Ⅱ-3-A-a, b, c, Ⅱ-3-F-a, b, c, d, e, Ⅱ-3-G-a, b, c, d, e, Ⅱ-3-H-a, b, c, d, e, Ⅱ-4-A-a, b, c
履修条件・履修上の注意	授業内で配布される「演習の手引き」を熟読して、演習に臨むこと。 演習の際は、ユニフォーム・ナースシューズを着用する。 事後学習の内容が不足の場合は、再提出を求めることがある。
実務経験のある教員による授業	
実務経験	萩原 一美（看護師）、堀込 由紀（看護師）、長嶺めぐみ（看護師）、千葉今日子（看護師）、森田 綾子（看護師）
授業の概要	看護の対象へ提供するための具体的な看護活動に共通する技術を学ぶ。看護活動の始まりである看護の対象を「よく観る」ための観察の重要性を学ぶ。その上で1年次後期・2年次で学ぶ援助方法、さらには対象のライフステージに合わせた臨床での援助方法の基盤となる共通の看護技術を習得する。

講義科目名称： コミュニケーション論

授業コード： 4N063

英文科目名称： Communication Theory

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美	萩原一美	千葉今日子	森田綾子

授業形態	講義 10時間 (5コマ) 演習 6時間 (3コマ)	担当者
授業計画	<p>第1回 コミュニケーションの意義と目的：講義 コミュニケーションの意義と人間のコミュニケーションの特徴を学ぶ。 2) 医療・看護におけるコミュニケーション 3) コミュニケーションと観察</p> <p>第2回 コミュニケーションの構成要素と成立過程：講義 「聞く」「話す」「書く」をとおして、コミュニケーションの成立過程を学ぶ。</p> <p>第3回 関係構築のためのコミュニケーション：講義 患者との信頼関係を構築するために必要な基本的態度を学ぶ。</p> <p>第4回 コミュニケーションを振り返る方法：講義 1) プロセスレコードによる振り返りの方法を学ぶ。 2) リフレクションの方法を学ぶ。 3) ロールプレイの方法を知る。</p> <p>第5・6回 看護場面での効果的なコミュニケーションの実際：演習 (提出課題有) 模擬患者とのコミュニケーションを実践する。</p> <p>第7回 7. コミュニケーションの振り返りの実際：演習 (提出課題有) 1) プロセスレコードを用いての自己のコミュニケーションを振り返り、考察する。</p> <p>第8回 8. コミュニケーションに障害のある人々への対応：講義 コミュニケーションに障害のある人への対応方法を学ぶ。</p>	<p>萩原一美</p> <p>萩原一美</p> <p>萩原一美</p> <p>萩原一美</p> <p>萩原一美 千葉今日子 森田綾子他</p> <p>萩原一美 千葉今日子 森田綾子他</p> <p>萩原一美</p>
科目の目的	患者一看護者関係を成立するためのコミュニケーションの意義と目的、方法を学習する。その上で、人間関係コミュニケーションにおける、相互作用の重要性に気づき、看護職に求められるコミュニケーションを考察する。【対象の理解】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者一看護者関係を成立するためのコミュニケーションの構成要素と過程を説明する。 2. 患者一看護者関係を成立するためのコミュニケーションの方法を説明する。 3. 他者とのコミュニケーションをとおして、自己のコミュニケーションの課題に気づく。 4. 看護職に求められるコミュニケーション力を考え、説明する。 	
関連科目	教養科目群：社会学、教育学、 専門科目群：看護学概論Ⅰ・Ⅱ、看護基礎技術論 日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ	
成績評価方法・基準	筆記試験 (80%) 演習課題 (20%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容に沿った教科書・参考書を活用し、講義内容に合わせて課題を提示する。本科目に必要な自己学習時間は15時間である。事前課題の必要最低時間は60分、事後課題の必要最低時間は60分。課題の詳細はその都度提示する。	
教科書・参考書	教科書：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院 参考書：なし	
オフィス・アワー	【萩原 (一)】 授業の前後 (萩原研究室) 【千葉】 授業の前後 (千葉研究室) 【森田】 授業の前後 (森田研究室)	
国家試験出題基準	≪必修問題≫ I-4-A-d, f I-2-A-d, e, IV-13-A-a, b, c, IV-14-C-a, d, IV-15-A, b, c, IV-15-B-a, b, c, d, e, IV-15-C-a, b, f ≪健康支援と社会保障制度≫-III-8-A-a, b, c, d, e, f ≪基礎看護学≫ I-2-A-a, b, c II-3-A-a, b, c, II-3-F-a, b, c, d, e, II-3-G-a, b, c, d, e, II-3-H-a, b, c, d, e, II-4-A-a, b, c	
履修条件・履修上の注意	コミュニケーション技術は看護職にとって重要なスキルであり、コミュニケーションスキルを磨くことは看護学生にとって大きな課題ある。また、看護基礎実習の履修に関連する科目となるため、自己のコミュニケーション力を分析して授業に臨むことが望ましい。	

講義科目名称： 日常生活援助学演習 I (活動・食事・排泄)

授業コード： 4N064

英文科目名称： Practice in Daily Life Care I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
千葉今日子	千葉今日子	萩原一美	堀込由紀
	長嶺めぐみ	森田綾子	

授業形態	講義 12時間(6コマ)	演習 18時間(9コマ)	担当者
授業計画	第1回	ガイダンス 1. 人間の生理的ニーズを満たすための看護援助：講義 1) 日常生活行動と生理的ニーズ 2) 生理的ニーズを満たすことの意義 3) 生理的ニーズを満たすための方法	千葉今日子
	第2回	2. 活動と運動に関する看護援助：講義(課題提出有) 1) 活動と運動の意義 2) 活動と運動に影響する要因 3) 活動と運動の援助の必要性を判断するための視点 4) 活動と運動を促す看護援助	千葉今日子
	第3.4.5回	3. 活動と運動に関する看護援助の実際：演習(提出課題有) 1) 床上での移動の方法 2) 車いす、ストレッチャーへの移乗方法 3) 車いす、ストレッチャーでの移送方法 4) 歩行時の援助(見守り・介助)	千葉今日子 萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 森田綾子
	第6回	4. 休息に関する看護援助：講義 5. 睡眠・リラクゼーションに関する看護援助：講義 1) 休息の意義 2) 休息に影響する要因 3) 休息の援助の必要性を判断するための視点 4) 休息を促す看護援助 6) 睡眠の意義 7) 睡眠に影響する要因 8) 睡眠の援助の必要性を判断するための視点 9) 睡眠を促す看護援助 10) リラクゼーション法：温巻法・冷巻法	千葉今日子
	第7.8回	6. 睡眠・リラクゼーションのための援助の実際：演習(提出課題有) 1) 温巻法 2) 冷巻法 3) 筋弛緩法・マッサージ	千葉今日子 萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 森田綾子
	第9回	7. 食事と栄養に関する看護援助：講義 1) 食事と栄養の意義 2) 食事と栄養に影響する要因 3) 食事と栄養の援助を判断するための視点 4) 食事摂取困難な患者への援助	千葉今日子
	第10.11回	8. 食事に関する看護援助の実際：演習(提出課題有) 1) 食事の環境調整 2) 配膳・食事摂取のための準備・下膳 3) 食事摂取量の観察 4) 口腔ケア	千葉今日子 萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 森田綾子
	第12回	9. 排泄に関する看護援助：講義 1) 排泄の意義 2) 排泄に影響する要因 3) 排泄の援助の必要性を判断する視点 4) 排泄の援助	千葉今日子
	第13.14回	10. 自然排泄を促す看護援助の実際：演習(提出課題有) 1) 便器・尿器での床上排泄の援助 2) ポータブルトイレでの排泄の援助 3) 尿失禁・便失禁のある患者のおむつを用いた援助用 4) 排泄後の陰部のケア：陰部洗浄	千葉今日子 萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 森田綾子
	第15回	11. 患者情報から生理的ニーズを満たすための看護援助の考え方/まとめ：講義 1) 援助の必要性を判断のするための視点 2) 援助方法の選択 3) 援助の際の留意点	千葉今日子

科目の目的	対象者のニーズに応じた日常生活援助（食生活と栄養、排泄、活動と休息）に伴う看護援助の基本的技術を習得する。講義では、看護の対象の日常生活行動の活動・休息、休息と睡眠、食生活と栄養、排泄に関する援助の目的と方法を理解する。演習では、講義で学修した知識を行動化し、対象の心情の理解や看護者の役割を、体験をとおして学ぶ。【看護の実践】
到達目標	1. 日常生活上の生理的ニーズ(食生活と栄養、排泄、活動と休息)を満たすための意義と方法を説明できる。 2. 日常生活上の生理的ニーズ(食生活と栄養、排泄、活動と休息)を満たすための方法を実施できる。 3. 日常生活上の生理的ニーズ(食生活と栄養、排泄、活動と休息)を満たすための援助を受ける対象の気持ちに気づくことができる。
関連科目	教養科目 : 心理学、社会学 専門基礎科目 : 解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、薬理学、病理学、生化学、 専門科目 : 看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、基礎看護技術論演習、コミュニケーション論、
成績評価方法・基準	筆記試験(80%)、提出課題(20%)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	【準備学習】 ・予習：授業内容に沿った教科書の該当ページを熟読し、理解できない内容を明確にする。 演習の予習課題を前回の授業時に提示する。演習内容に沿った教科書の該当ページを熟読し、予習課題に取り組む。 ・復習：予習課題の解説を演習時に行う。解説を参考にし、提出課題を完成させる。 【準備学習に必要な学習時間の目安】 ・予習：1コマあたり60分。 ・復習：1コマあたり60分。
教科書・参考書	教科書1：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院 教科書2：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第3版 医学書院
オフィス・アワー	【萩原】授業の前後（萩原一美研究室） 【千葉】授業の前後（千葉研究室） 【堀込】授業の前後（堀込研究室） 【長嶺】授業の前後（長嶺研究室） 【森田】授業の前後（森田研究室）
国家試験出題基準	【看護師】 《必修問題》-Ⅰ-2-A-a, b, c, d, e 《必修問題》-Ⅳ-14-A 《必修問題》-Ⅳ-14-B-a, d 《必修問題》-Ⅳ-14-C-a, b, c, d, f 《必修問題》-Ⅳ-14-D 《必修問題》-Ⅳ-15-B-a, d 《必修問題》-Ⅳ-16-E 《基礎看護学》-Ⅱ-3-H-d 《基礎看護学》-Ⅱ-4-B-a, b, c, d, e, f, g 《基礎看護学》-Ⅱ-4-C-a, b, c, d, e, f, g 《基礎看護学》-Ⅱ-4-D, E, F
履修条件・履修上の注意	演習時は、実習用ユニフォーム(ナースウェア、ナースシューズ、名札)を着用して臨むこと。 予習課題と提出課題に取り組み、期日までに提出すること。
実務経験のある教員による授業	
実務経験	千葉今日子（看護師）、萩原一美（看護師）、堀込由紀（看護師）、森田綾子（看護師）
授業の概要	「基礎看護技術論」の学習をふまえ、対象者のニーズに応じた日常生活援助（食生活と栄養、排泄、活動と休息）に伴う看護援助の基本的技術を習得する。講義では、看護の対象の日常生活行動の活動・休息、安楽と休息、食生活と栄養、排泄に関する援助の目的と方法を理解する。演習では、講義で学修した知識を行動化し、対象の心情の理解や、看護者の役割を体験をとおして学ぶ。

講義科目名称： 日常生活援助学演習Ⅱ（清潔・安楽）

授業コード： 4N065

英文科目名称： Practice in Daily Life CareⅡ

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
堀込 由紀	萩原一美	長嶺めぐみ	千葉今日子
	森田綾子		

授業形態	講義3回、演習12回		担当者
授業計画	第1回	ガイダンス・清潔保持と衣生活1/講義 清潔保持に関する生理的メカニズム、清潔のニーズのアセスメントについて学ぶ。	堀込由紀
	第2回	清潔保持と衣生活2/講義 清潔の保持や衣生活の援助の意義、療養生活で用いる衣類の種類と取り扱いについて学ぶ。	堀込由紀
	第3回	清潔保持と衣生活3/講義 清潔保持に関する援助方法を学ぶ。	堀込由紀
	第4回	整容・寝衣交換1/演習 整容の方法について習得する。 様々なタイプの寝衣と、その着脱に関する援助方法を習得する。	堀込由紀・ 萩原一美・ 長嶺めぐみ・ 千葉今日子・ 森田綾子
	第5回	寝衣交換2/演習 臥床患者の寝衣交換（浴衣タイプからセパレートタイプの病衣等）の援助方法を習得する。	堀込由紀・ 萩原一美・ 長嶺めぐみ・ 千葉今日子・ 森田綾子
	第6～7回	部分浴/演習 部分浴（足浴）の援助方法を習得する。 臥位での足浴及び座位での足浴の援助方法を習得する。	堀込由紀・ 萩原一美・ 長嶺めぐみ・ 千葉今日子・ 森田綾子
	第8～9回	部分浴/演習 部分浴（洗髪）の援助方法を習得する。 ケリーパッド及び洗髪車を使用した洗髪の援助方法を習得する。	堀込由紀・ 萩原一美・ 長嶺めぐみ・ 千葉今日子・ 森田綾子
	第10～11回	全身清拭/演習 臥床患者の全身清拭の援助方法を習得する。	堀込由紀・ 萩原一美・ 長嶺めぐみ・ 千葉今日子・ 森田綾子
	第12～13回	全身清拭と寝衣交換/演習 臥床患者の全身清拭と寝衣交換の援助方法を習得する。	堀込由紀・ 萩原一美・ 長嶺めぐみ・ 千葉今日子・ 森田綾子
	第14～15回	既出事項のまとめ/演習 清潔の援助の実践（技術習得度チェック）を通して知識・技術に関する整理及び確認を行う。	堀込由紀・ 萩原一美・ 長嶺めぐみ・ 千葉今日子・ 森田綾子
科目の目的	「基礎看護技術論」の学習をふまえ、対象者のニーズに応じた日常生活援助（清潔の保持、衣生活）に伴う看護援助の基本的技術を習得する。講義では看護の対象の清潔を保つ意義、目的、方法の知識を理解する。演習では、講義で学修した知識を行動化し、安全・安楽な清潔への援助方法を実施する。その上で、対象の心情の理解や、看護者の役割を体験を通して学ぶ。【看護の実践】		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 清潔保持に関する生理的メカニズム、清潔のニーズのアセスメントについて説明できる。 2. 清潔の保持や衣生活の援助の意義とその援助方法について説明できる。 3. 患者のニーズに応じ、かつ、安全で根拠のある清潔の援助を実施することができる。 		

	4. 援助を受ける対象者に関心を持ち、患者のニーズに配慮した安心・安楽なケアの必要性に気付き表現することができる。
関連科目	教育学、社会学、解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、看護学概論Ⅰ、基礎看護技術演習、日常生活援助学演習Ⅰ
成績評価方法・基準	筆記試験（50％）、課題（20％）、技術習得度（30％）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	【予習】講義予定の該当ページを熟読する。演習の場合には事前課題に取り組む。1コマ当り30分目安 【復習】講義・演習終了後、該当ページを熟読する。演習後は事後課題に取り組み技術を振り返り、技術の根拠や手順について理解を深める。1コマ当り90分程度
教科書・参考書	教科書1：系統看護学講座専門分野 基礎看護学技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院 教科書2：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第3版 医学書院
オフィス・アワー	【堀込由紀】講義・演習の前後及び火曜日12：10～12：50（研究室） 【萩原一美】講義・演習の前後（研究室） 【長嶺めぐみ】講義・演習の前後（研究室） 【千葉今日子】講義・演習の前後（研究室） 【森田綾子】講義・演習の前後（研究室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	予習、復習し、主体的に講義・演習に臨むこと。演習では身だしなみを整え参加すること。
実務経験のある教員による授業	
実務経験	堀込由紀（看護師）、萩原一美（看護師）、長嶺めぐみ（看護師）、千葉今日子（看護師）、森田綾子（看護師）
授業の概要	「基礎看護技術論」の学習をふまえ、対象者のニーズに応じた日常生活援助（清潔の保持、衣生活）に伴う看護援助の基本的技術を習得する。講義では看護の対象の清潔を保つ意義、目的、方法の知識を理解する。演習では、講義で学修した知識を行動化し、安全・安楽な清潔への援助方法を実施する。その上で、対象の心情の理解や、看護者の役割を体験をとおして学ぶ。

講義科目名称：ヘルスアセスメント

授業コード：4N066

英文科目名称：Health Assessment

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：ヘルスアセスメント演習

授業コード：4N067

英文科目名称：Practice in Health Assessment

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
長嶺めぐみ			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 看護過程論入門

授業コード： 4N068

英文科目名称： Introduction to Nursing Process Theory

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
堀込 由紀			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 看護過程展開論演習

授業コード： 4N069

英文科目名称： Nursing Process Development Theory Exercise

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
堀込 由紀			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 治療援助学演習

授業コード： 4N070

英文科目名称： Practice in Therapeutical Nusing Care

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
長嶺めぐみ			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 基礎看護学特論

授業コード： 4N071

英文科目名称： Advanced Fundamental Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
堀込 由紀			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 地域・在宅看護学概論

授業コード： 4N072

英文科目名称： Introduce to Commnity and Home Care Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 基			

授業形態	講義（8）	担当者
授業計画	<p>第1回 地域・在宅看護の概念① ・地域・在宅看護とは ・地域・在宅看護の歴史、取り巻く状況、地域・在宅看護が提供される場</p> <p>第2回 地域・在宅看護の概念② ・地域・在宅看護を展開するための基本理念 ・地域・在宅看護における看護師の役割</p> <p>第3回 地域・在宅看護の対象者① ・発達段階や健康レベルからみた対象者</p> <p>第4回 地域・在宅看護の対象者② ・在宅療養者の家族・介護者</p> <p>第5回 地域・在宅療養を支える支援 ・療養の場の移行 ・地域・在宅看護の提供方法</p> <p>第6回 地域・在宅療養を支える制度 ・ケアマネジメント ・地域における多職種連携</p> <p>第7回 訪問看護制度 ・訪問看護に関する規程、利用者、訪問回数、利用までの手順、費用 ・訪問看護サービスの提供</p> <p>第8回 訪問看護の展開 ・療養上のリスクマネジメント ・地域・在宅看護における権利保障</p>	<p>齋藤</p> <p>齋藤</p> <p>齋藤</p> <p>齋藤</p> <p>齋藤</p> <p>齋藤</p> <p>齋藤</p> <p>齋藤</p>
科目の目的	地域・在宅看護が求められている社会的背景・現状を踏まえ、地域・在宅看護の対象者である療養者及びその家族の「生活の場」における地域・在宅看護の目的、役割を思考し、地域・在宅看護の展開方法を理解する。また、地域・在宅看護の提供における法的根拠を理解する。【対象の理解】【国際的な視野】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域・在宅看護の歴史及び地域・在宅看護が必要とされる社会的背景、現状を踏まえ、対象者への理解を深め、地域・在宅看護の目的・機能・役割が説明できる。 2. 地域・在宅看護の対象である療養者とその家族に対して、家族システム論に基づき看護の役割及びその展開方法が説明できる。 3. 訪問看護制度および訪問看護ステーションの管理・運営、機能が説明できる。 4. 療養者の権利擁護に対する訪問看護師の役割が理解できる。 	
関連科目	看護学概論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、精神看護学、公衆衛生看護学、家族看護学、社会福祉・社会保障制度論、多職種理解と連携	
成績評価方法・基準	定期試験 100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	人口構造の変化、国民の健康意識、保健・医療・福祉の現状、ライフサイクル上の発達課題などから、地域・在宅看護の必要性との関連性について事前学修し、知識を得ておく。概ね30分程度の事前学修が必要である。	
教科書・参考書	教科書：「系統看護学講座 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤」 医学書院 河原加代子（著者代表） 「ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア 第7版」 メディカ出版	
オフィス・アワー	齋藤：月曜日 昼休み	
国家試験出題基準	1-A-a～d、1-C-a～d、1-D-a～d、1-G-a～e、3-A-a～c、3-C-a～e、12-C-d	
履修条件・履修上の注意	事前学修は、前週の学修内容から国家試験出題類似問題を課す。また前週の学修内容についてポイントをフィードバックするので、しっかり国試問題に取り組んでくること。事前学修結果は、講義前に答え合わせを行う。	

講義科目名称： 地域・在宅看護方法論

授業コード： 4N073

英文科目名称： Home and Community-based Care Nursing Methods

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 基			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 地域・在宅看護展開論

授業コード： 4N074

英文科目名称： Development Theory in Home and Community-based
Care Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 基			
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書・参考書			
オフィス・アワー			
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			

講義科目名称： 地域・在宅看護学演習

授業コード： 4N075

英文科目名称： Practice in Home and Community-based Care Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
反町 真由			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 地域・在宅看護学特論

授業コード： 4N076

英文科目名称： Advance Home and Community-based Care Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
齋藤 基			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 成人看護学総論

授業コード： 4N077

英文科目名称： Introduction to Adult Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 英子	金子吉美	小池菜穂子	

授業形態	講義 (8回)	担当者
授業計画	<p>第1回 成人と生活 成人看護の対象となる大人の生活の特徴について学習する。 keywords：生活様式、家族形態と機能、社会状況の変化、成人の健康の特徴</p> <p>第2回 成人各期の特徴と健康問題 成人各期（青年期、壮年期・中年期、向老期）における発達課題と身体的・心理的・社会的特徴について学習する。また、成人の健康の状況について学習する。 keywords：成人各期の身体的・心理的・社会的特徴、就労と疾病の関連</p> <p>第3回 成人の健康と保健・医療・福祉システム 成人の健康を守る保健・医療・福祉システムの概要について学習する。 keywords：保健・医療・福祉システム、健康増進と生活習慣病の予防</p> <p>第4回 健康をおびやかす要因と看護 生活行動がもたらす健康問題とその予防方法について学習する。 keywords：生活習慣と健康、ストレスと健康、職業性疾病</p> <p>第5回 成人への看護アプローチの基本 チームアプローチにおける看護師の役割、看護実践における倫理的判断、意志決定支援、家族支援について学習する。 keywords：倫理的判断、意思決定支援、家族支援</p> <p>第6回 海外における成人看護 諸外国における成人保健及び成人看護の実際について学習する。 keywords：諸外国に特徴的な健康問題、諸外国の保健・医療・福祉システム</p> <p>第7回 成人の健康障害と看護① がんとともに生活する人の講義を受けて、急激な健康破綻に陥った患者に対する看護について考える。 〔guest speaker:がん患者〕 keywords：治療の意思決定、抗がん剤治療、ピアサポート</p> <p>第8回 成人の健康障害と看護② 難病とともに生活する人の講義を受けて、慢性的な健康状態の揺らぎを持つ患者とその家族に対する看護について考える。 〔guest speaker:難病患者〕 keywords：生活の再構築、セルフケア、患者会</p>	<p>萩原英子</p> <p>萩原英子</p> <p>萩原英子</p> <p>金子吉美</p> <p>金子吉美</p> <p>小池菜穂子</p> <p>萩原英子</p> <p>萩原英子</p>
科目の目的	成人看護の対象である成人期にある人々の特徴と健康問題を理解し、健康の保持・増進および健康障害を持った人々への看護のあり方を考察する。 (ディプロマポリシー【対象の理解】【国際的な視野】)	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人期にある人々の身体的・心理的・社会的特徴と健康問題について説明できる。 2. 国内外の成人保健の動向と保健・医療・福祉システムについて説明できる。 3. 成人期にある人々への基本的な看護アプローチの方法を説明できる。 4. 健康障害を持ちながら生活する成人に対する看護アプローチについて、自分の考えを述べることができる。 	
関連科目	成人看護方法論、慢性期看護論、周術期看護論、クリティカルケア看護論、成人看護学演習、成人看護学実習、成人看護学特論、救急看護、看護学概論Ⅰ、地域保健行政	
成績評価方法・基準	定期試験(期間外/筆記試験)90%、期末レポート10%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習及び復習に必要な学習時間は90分である。 準備学習として、授業計画欄に記載しているkeywordsに基づき、教科書を事前に読んでくること。また復習として、講義終了後(ゲストスピーカーの講義以外)は、教科書や配布した資料をよく読み、理解できたか確認をすること。	
教科書・参考書	<p>教科書： 「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論 成人看護学①」医学書院</p> <p>参考書： 「国民衛生の動向 厚生省の指標 2021/2022年版」</p>	

オフィス・アワー	萩原英子(研究室306)：講義開講日の12:10～13:00 金子吉美(研究室307)：講義開講日の12:10～13:00 小池菜穂子(研究室308)：講義開講日の12:10～13:00 ゲストスピーカー(非常勤講師室)：講義終了後の20分間
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業(他の科目の学習等)は禁止する。 ゲストスピーカーの方に対しての礼節を忘れずに講義に臨むこと。 講義に必要な資料は、各講義中に配布する。

講義科目名称： 成人看護方法論

授業コード： 4N078

英文科目名称： Adult Nursing Methods

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
堀越 政孝			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 慢性期看護論

授業コード： 4N079

英文科目名称： Chronic Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
金子 吉美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 周術期看護論

授業コード： 4N080

英文科目名称： Perioperative Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 英子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： クリティカルケア看護論

授業コード： 4N081

英文科目名称： Critical Care Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
堀越 政孝			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 成人看護学演習

授業コード： 4N082

英文科目名称： Practice in Adult Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
金子 吉美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 救急看護

授業コード： 4N083

英文科目名称： Paramedic Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
小池菜穂子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 成人看護学特論

授業コード： 4N084

英文科目名称： Advanced Adult Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
萩原 英子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 老年看護学総論

授業コード： 4N085

英文科目名称： Introduction to Gerontological Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
関妙子			

授業形態	講義（7回）、演習（1回）		担当者
授業計画	第1回	講義ガイダンス、ライフサイクルにおける老年期の特徴 老いるということ、ライフサイクルにおける老年期（講義） ※事前課題あり（初回講義前にアクティブアカデミーにて課題を提示するので出力をして第1回講義終了時に提出すること）	関 妙子
	第2回	高齢社会と高齢者の生活 統計からみる高齢社会、高齢者の暮らし（講義） 第1回事前課題の解説及び講評	関 妙子
	第3回	加齢とからだ、こころ 加齢による身体的変化、心理・社会的変化（講義）	関 妙子
	第4回	高齢者疑似体験 老化疑似体験を通しての高齢者の理解（演習） ※レポート課題あり	関 妙子
	第5回	社会学的視点から見た高齢者 老年期の発達課題、役割機能、社会参加、経済的基盤（講義） 第4回レポート課題の開設及び講評	関 妙子
	第6回	高齢者の健康を支援する制度・システム 高齢者の保健・医療・福祉システム・高齢者医療の仕組み（講義）	関 妙子
	第7回	高齢者の倫理的課題 高齢者虐待、身体拘束、権利擁護（講義）	関 妙子
	第8回	高齢者理解と老年看護の役割 高齢者のライフヒストリーインタビューを通しての高齢者理解と老年看護の機能・役割（講義） ※課題レポートあり（レポートの解説及び講評はアクティブアカデミーにて行う）	関 妙子
科目の目的	ライフサイクルにおける老年期の特徴を身体的・心理的・社会的側面から理解し、老年期にある人々の健康問題の特徴、保健および看護の機能・特性を学ぶ。 （ディプロマポリシー：【対象の理解】 【国際的な視野】）		
到達目標	1. ライフサイクルにおける老年期の位置づけおよびからだ・こころ・生活の特徴を説明することができる。 2. 老年期における健康問題の特徴、保健ならびに看護の機能・特性を説明することができる。 3. 高齢者に関わる倫理課題、高齢者の尊厳について説明することができる。 4. 老年期にある人々の健康を支援する制度、システムについて説明することができる。 5. 老年看護活動の場と、その機能・役割について説明することができる。		
関連科目	高齢者の健康と障害、老年看護方法論、老年看護学演習、老年看護学特論、老年看護学実習		
成績評価方法・基準	期末試験（80%）、課題レポート（20%） ※定期試験は100点満点で実施するが、80点満点に換算する。レポート課題は2回実施する。各10点満点で採点して、合計で20点満点とする。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業計画に沿って所定の教科書の内容を熟読し準備学習すること。 自己学習に必要な時間として予習60分、復習30分程度は要することが見込まれる。		
教科書・参考書	教科書：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 参考書：「国民衛生の動向2021/2022」（厚生統計協会）		
オフィス・アワー	講義終了後、関研究室（320）		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意	初回講義の事前課題あり。初回講義前にアクティブアカデミーにて課題を提示するので出力をして第1回講義終了時に提出すること。 毎回の授業の予習・復習として授業内容に該当するテキストを熟読し、意欲的に授業に臨むこと。		

講義科目名称： 高齢者の健康と障害

授業コード： 4N086

英文科目名称： Gerontological Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
星野 泰栄			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 老年看護方法論

授業コード： 4N087

英文科目名称： Gerontological Nursing Methods

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
傳谷 典子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 老年看護学演習

授業コード： 4N088

英文科目名称： Practice in Gerontological Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
傳谷 典子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 老年看護学特論

授業コード： 4N089

英文科目名称： Advanced Gerontological Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
関 妙子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 小児看護学総論

授業コード： 4N090

英文科目名称： Introduction to Child Health Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中下 富子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 小児看護方法論

授業コード： 4N091

英文科目名称： Child Health Nursing Methods

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中下 富子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 小児看護過程・技術論

授業コード： 4N092

英文科目名称： Nursing Process & Technical Theory of Pediatric Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中下 富子			
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書・参考書			
オフィス・アワー			
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			

講義科目名称： 小児看護学演習

授業コード： 4N093

英文科目名称： Practice in Child Health Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中下 富子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 小児看護学特論

授業コード： 4N094

英文科目名称： Advanced Pediatric Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中下 富子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 母性看護学総論

授業コード： 4N095

英文科目名称： Introduction to Maternity Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
中島久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 母性看護方法論

授業コード： 4N096

英文科目名称： Maternity Nursing Methods

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
堀越 摂子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 母子の健康支援

授業コード： 4N097

英文科目名称： Health Supports for Mother and Child

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
早川 有子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 母性看護学演習

授業コード： 4N098

英文科目名称： Practice in Maternal Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
堀越 摂子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 母性看護学特論

授業コード： 4N099

英文科目名称： Advanced Maternity Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中島久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 精神保健

授業コード： 4N100

英文科目名称： Mental Health

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西川 薫			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 日本の精神保健医療の現状と課題 日本における精神保健医療の現状を国際比較しながら現状と課題を理解する	西川 薫
	第2回 精神の健康について理解する 精神の健康の概念（WHOの概念、正常・異常の概念など）について理解する	西川 薫
	第3回 精神の構造と働きについて理解する（1） こころの構造と機能について、フロイトの精神力動論を中心に理解する	西川 薫
	第4回 精神の構造と働きについて理解する（2） 無意識にこころを守る防衛機制について理解する	西川 薫
	第5回 精神の発達に関する主要な考え方について理解する 分離個体化理論（マーガレット・マラー）、漸成的発達理論（エリクソン）などについて理解する	西川 薫
	第6回 精神の危機状況について理解する こころの危機状況について危機理論に基づき理解する	西川 薫
	第7回 家族と精神の健康について理解する 家族の機能と家族システムについて理解する	西川 薫
	第8回 現代社会と精神の健康について理解する 国際比較に基づいて、現代日本社会のこころに関する課題と解決策について理解する	西川 薫
科目の目的	精神（こころ）の健康を維持・増進・回復するために必要な基礎理論及び支援体制の概要について学習し、看護専門職に必要とされる専門知識の基盤とする。精神の健康、精神の発達と機能、ストレス（危機）とその反応、現代社会における精神保健の課題とその対策について理解できることを目指す。ディプロマポリシーである【対象の理解】の修得をめざす。	
到達目標	1. 精神（こころ）の健康について説明できる。 2. 精神の構造と働きについて説明できる。 3. 精神の発達と機能について説明できる。 4. 精神の危機状況について説明できる。 5. 現代社会における精神保健の課題とその対策について説明できる。	
関連科目	精神看護学概論、精神看護学方法論、精神看護学演習、精神看護学実習、精神看護学特論、臨床心理学	
成績評価方法・基準	定期試験（70%）、各回のリフレクションシート（30%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：各講義日の講義内容について教科書及び参考図書を講読し、学習内容を把握し、疑問点等を抽出する（1時間） 復習：講義終了後に講義内容の再確認及び疑問点を抽出し、疑問点について調べる（1時間）	
教科書・参考書	教科書：新体系 看護学全書 精神看護学概論／精神保健 編集：岩崎弥生・渡邊博幸 メヂカルフレンド社	
オフィス・アワー	火曜日・水曜日：12:10～12:50（西川研究室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	履修条件は特にないが、不明な点は積極的に質問してほしい。 配布資料は、前日までにActive Academyで配布する。配布資料は各自が印刷し持参する。	

講義科目名称： 精神看護学概論

授業コード： 4N101

英文科目名称： Introduction to Psychiatric Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西川 薫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 精神看護方法論

授業コード： 4N102

英文科目名称： Psychiatric Nursing Methods

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西川 薫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 精神看護学演習

授業コード： 4N103

英文科目名称： Practice in Psychiatric Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西川 薫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 精神看護学特論

授業コード： 4N104

英文科目名称： Advanced Psychiatric Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
西川 薫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 看護学への誘い

授業コード： 4N105

英文科目名称： Invitation to nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
矢島 正栄	看護学科教員全員		

授業形態	講義7回 演習8回		担当者
授業計画	第1回	イントロダクション・看護の理解① ・大学で看護学を学ぶにあたって	矢島正栄 他
	第2回	看護の理解② ・基礎看護学とは ・小児看護学とは	矢島正栄 他
	第3回	看護の理解③ ・在宅看護学とは ・訪問看護ステーションで働く看護師の実際（大山晴美）	矢島正栄 他
	第4回	看護の理解④ ・成人看護学とは ・総合病院で働く看護師の実際（未定）	矢島正栄 他
	第5回	看護の理解⑤ ・老年看護学とは ・療養病棟、地域包括ケア病棟で働く看護師の実際（平山美鈴）	矢島正栄 他
	第6回	看護の理解⑥ ・母性看護学とは ・助産学とは ・病院で働く助産師の実際（上原富美子）	矢島正栄 他
	第7回	看護の理解⑦ ・公衆衛生看護学とは ・市町村保健センターで働く保健師の実際（青木好実）	矢島正栄 他
	第8回	看護の理解⑧／課題解決技法の獲得イントロダクション ・精神看護学とは ・次回からのGWの方法について/プレゼンテーションの方法	看護学科全 教員
	第9回	課題解決技法の獲得① ・テーマの決定 ・今後のGWスケジュールの立案 ・調査内容の分担	看護学科全 教員
	第10回	課題解決技法の獲得② ・前週のHWについて発表・討議 ・追加で調査が必要なことを整理し、分担する	看護学科全 教員
	第11回	課題解決技法の獲得③ ・前週のHWについて発表・討議 ・追加で調査が必要なことを整理し、分担する	看護学科全 教員
	第12回	課題解決技法の獲得④ ・前週のHWについて発表・討議 ・発表内容のまとめ	看護学科全 教員
	第13回	課題解決技法の獲得⑤ ・発表方法の検討 ・発表用媒体の作成	看護学科全 教員
	第14回	課題解決技法の獲得⑥ ・発表用媒体の作成 ・発表の練習	看護学科全 教員
	第15回	発表会	看護学科全 教員
科目の目的	保健・医療・福祉に携わる看護職の機能と役割について理解を促し、看護に対する興味・関心を深められるよう導く。また、グループワークを通して、看護職として必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題解決能力を育てる。【専門性の探究】		

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象や活動の場の特性に応じた看護職(看護師・保健師・助産師)の機能と役割を説明できる。 2. 自分自身の目指す看護師像と、そこに至るための今後の大学生活における目標を述べることができる。 3. グループでテーマを設定し、必要な情報を収集・整理して結論を導くことができる。 4. 相手の意見を尊重しながら自分の考えを述べ、グループのメンバーと協働できる。 5. グループワークの成果を分かりやすく、説得力をもって発表できる。
関連科目	生命倫理、大学の学び入門、多職種理解と連携、看護学概論Ⅰ・Ⅱ
成績評価方法・基準	レポート40%、グループワークへの取り組み30%、発表会における内容30%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義に出席する前に、講義で取り上げる内容について調べた上で出席すること。また、グループワークにおいても担当した内容については、十分に調べ、理解をした上で参加すること。いずれにおいても準備学習時間は1～2時間である。
教科書・参考書	特に指定しない。
オフィス・アワー	適宜各回担当教員に確認する。 グループワーク開始後については、各グループ担当教員に確認する。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	本科目は学生自身の主体的かつ積極的な学習が必須の科目であることを理解したうえで参加すること。

講義科目名称： 多職種理解と連携

授業コード： 4N106

英文科目名称： Multidisciplinary Understanding and Cooperation

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
矢島 正栄	大濱和也、星野修平	白坂康俊、石井良和	長田誠、中徹
	田村遵一		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 チーム医療とは チーム医療の背景、目的、意義、看護師とチーム医療	矢島正栄
	第2回 関係職種の理解 1 医師とは、医師からみた看護職とのかかわり、医師とチーム医療	田村遵一
	第3回 関係職種の理解 2 理学療法士とは、理学療法士からみた看護職とのかかわり、理学療法士とチーム医療	佐藤満
	第4回 関係職種の理解 3 作業療法士とは、作業療法士からみた看護職とのかかわり、作業療法士とチーム医療	石井良和
	第5回 関係職種の理解 4 言語聴覚士とは、言語聴覚士からみた看護職とのかかわり、言語聴覚士とチーム医療	白坂康俊
	第6回 関係職種の理解 5 臨床検査技師とは、臨床検査技師からみた看護職とのかかわり、臨床検査技師とチーム医療	長田誠
	第7回 関係職種の理解 6 診療放射線技師とは、診療放射線技師からみた看護職とのかかわり、診療放射線技師とチーム医療	星野修平
	第8回 関係職種の理解 7 臨床工学技士とは、臨床工学技士からみた看護職とのかかわり、臨床工学技士とチーム医療 医師とは、医師からみた看護職とのかかわり、医師とチーム医療	大濱和也
	第9回 関係職種の理解 8 薬剤師とは、薬剤師からみた看護職とのかかわり、薬剤師とチーム医療	鍵山智樹
	第10回 関係職種の理解 9 管理栄養士とは、管理栄養士からみた看護職とのかかわり、管理栄養士とチーム医療 (ゲストスピーカー：未定) 介護福祉士とは、介護福祉士からみた看護職とのかかわり、介護福祉士とチーム医療 (ゲストスピーカー：田口敏治)	矢島正栄
	第11回 関係職種の理解 10 メディカルソーシャルワーカー (MSW) とは、MSWからみた看護職とのかかわり、MSWとチーム医療 (ゲストスピーカー：藤井裕哉) 精神保健福祉士とは、精神保健福祉士から見た看護職とのかかわり、精神保健福祉士とチーム医療 (ゲストスピーカー：米山恵美子)	矢島正栄
	第12回 関係職種の理解 11 ケアマネージャーとは、ケアマネージャーから見た看護職との関わり、ケアマネージャーとチーム医療 (ゲストスピーカー：金古英士) 技師装具士とは、技師装具士から見た看護職との関わり、技師装具士とチーム医療 (ゲストスピーカー：平井正利)	矢島正栄
	第13回 チーム医療の実際 1 栄養サポートチームについて (ゲストスピーカー：伊藤順子)	矢島正栄
	第14回 チーム医療の実際 2 感染管理チームについて (ゲストスピーカー：未定)	矢島正栄
	第15回 地域における多職種連携・カンファレンスについて 訪問看護師、保健師と多職種連携 カンファレンスについて	矢島正栄
科目の目的	チーム医療、多職種連携の意義と目的、看護職が連携する様々な関係職種の専門性と役割、チーム医療、多職種連携における看護の役割を理解し、自らが、将来、医療チームの一員として役割を果たすこと、今後の大学での学びを関連付ける。【協調・協働】	
到達目標	1. チーム医療の背景、目的、意義を説明できる。 2. 各保健医療福祉専門職の専門性、主たる業務、チーム医療における役割を説明できる。 3. 各保健医療福祉専門職と看護職がどのように連携しているかを説明できる。	

	<p>4. カンファレンスの意義と進め方を説明できる。</p> <p>5. 将来、医療チームの一員として役割を果たすための自らの課題を述べることができる。</p>
関連科目	看護への誘い、看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、地域在宅看護学概論、成人看護学総論、老年看護学総論、精神保健
成績評価方法・基準	レポート 100%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習として、各回の職種について事前の下調べを行うこと（30分程度）。復習として、理解し得た事項を箇条書きにしてノートにまとめておくこと（30分程度）。
教科書・参考書	特に指定しない。
オフィス・アワー	全ての先生：講義の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称： 国際看護論

授業コード： 4N107

英文科目名称： International Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
長嶺めぐみ			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 災害看護論

授業コード： 4N108

英文科目名称： Disaster Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
矢島 正栄			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 臨床看護管理学

授業コード： 4N109

英文科目名称： Clinical Nursing Administration and Policies

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 公衆衛生看護学概論

授業コード： 4N110

英文科目名称： Introduction to Public Health Nursing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
矢島 正栄			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 公衆衛生看護技術論

授業コード： 4N111

英文科目名称： Public Health Nursing Skills Method

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
廣田 幸子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 対象別公衆衛生看護活動論 I

授業コード： 4N112

英文科目名称： Public Health Nursing Activities I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
廣田 幸子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず (2022年度カリキュラム)	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ

授業コード： 4N113

英文科目名称： Public Health Nusring Activities II

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
廣田 幸子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 個人・家族の公衆衛生看護技術演習

授業コード： 4N114

英文科目名称： Practice in Public Health Nursing Skills Method
for Person & Family

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
廣田 幸子			
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書・参考書			
オフィス・アワー			
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			

講義科目名称： 集団・地域の公衆衛生看護技術演習

授業コード： 4N115

英文科目名称： Practice in Public Health Nursing Skills Method
for Group & Community

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
廣田 幸子			
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書・参考書			
オフィス・アワー			
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			

講義科目名称： 公衆衛生看護活動展開論

授業コード： 4N116

英文科目名称： Advanced Public Health Nursing Activities

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
小林亜由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 地域保健政策論

授業コード： 4N117

英文科目名称： Community Health Policy

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
小林亜由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 施策化・政策形成過程演習

授業コード： 4N118

英文科目名称： Practice in measure and Policy Formation Process

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
小林亜由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 公衆衛生看護管理

授業コード： 4N119

英文科目名称： Public Health Nursing Administration

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
矢島 正栄			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 助産学概論

授業コード： 4N120

英文科目名称： Introduction to Midwifery

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中島久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 母子と家族の心理・社会学

授業コード： 4N121

英文科目名称： Psychosociology for Mother, Child and Family

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
中島久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 助産基礎医学

授業コード： 4N122

英文科目名称： Basic Medicine for Midwifery

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
早川 有子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 周産期診断学

授業コード： 4N123

英文科目名称： Perinatal Diagnostics

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
横田 佳昌			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 妊娠期助産診断技術学

授業コード： 4N124

英文科目名称： Gestation Period Midwifery Diagnostic Technology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
堀越 摂子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 分娩期助産診断技術学

授業コード： 4N125

英文科目名称： Intrapartum Period Midwifery Diagnostic Technology 対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
中島久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：産褥期助産診断技術学

授業コード：4N126

英文科目名称：Puerperium Midwifery Diagnostic Technology

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
堀越 摂子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 新生児・乳幼児期助産診断技術学

授業コード： 4N127

英文科目名称： Neonatal and Infant Period Midwifery Diagnostic Technololy

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
堀越 摂子			
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書・参考書			
オフィス・アワー			
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			

講義科目名称： ハイリスク助産診断技術学

授業コード： 4N128

英文科目名称： High Risk Midwifery Diagnostic Technololy

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
廣瀬 文乃			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 助産診断技術学演習

授業コード： 4N129

英文科目名称： Practice in Midwifery Diagnostic Technololy

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
中島久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： ハイリスク助産診断技術学演習

授業コード： 4N130

英文科目名称： Practice in High Risk Midwifery Diagnostic Technololy

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
廣瀬 文乃			
授業形態	担当者		
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）		
科目の目的			
到達目標			
関連科目			
成績評価方法・基準			
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書・参考書			
オフィス・アワー			
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			

講義科目名称： 地域母子保健論

授業コード： 4N131

英文科目名称： Community maternal and child health

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
堀越 摂子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 助産管理

授業コード： 4N132

英文科目名称： Midwifery Management

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
早川 有子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 看護基礎実習

授業コード： 4N133

英文科目名称： Basic Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美	萩原一美	堀込由紀	長嶺めぐみ
	千葉今日子	森田綾子	

授業形態	実習（1週間）	担当者
授業計画	<p>実習内容・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病院の構造・機能、地域医療の中での役割を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護部のオリエンテーション、部門見学 2) 病棟オリエンテーション、病棟見学 2. 病院で働く看護職及び他の様々な職種の役割を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護師の援助場面に同行 2) 病棟でのカンファレンス 3) 看護部のオリエンテーション 3. 対象との関係を成立させるコミュニケーションを理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護師と患者のコミュニケーション場面の見学 <ul style="list-style-type: none"> ・傾聴・受容的態度、言語的・非言語的コミュニケーション 2) 患者とコミュニケーション 4. コミュニケーションをとおしての自己の課題と解決策を考える。 <ol style="list-style-type: none"> 1) プロセスレコードによる自己のコミュニケーションの振り返り 2) コミュニケーションにおける自己の傾向と課題と解決策 5. 看護者の役割と責務、看護の目的を考える。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 実習をとおしての学びとしてレポート記述 <p>実習期間・時間 2023年：2月の5日間（9：00～16：00）</p> <p>実習場所 1. 病院実習：高崎総合医療センター 2. 学内実習：大学内講義室</p> <p>実習のすすめ方 1) 学内オリエンテーション：学内 <ul style="list-style-type: none"> ・実習目的、目標、行動目標、実習方法、実習記録、評価、留意事項について教員が説明を行う。 2) 病院実習 <ol style="list-style-type: none"> (1) 病院オリエンテーション：高崎総合医療センター <ol style="list-style-type: none"> ① 病院の機能、構造、役割 ② 看護部の役割、チーム医療 (2) 病棟オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・病棟の特徴、看護体制、構造などを実習指導者より説明を受ける。 (3) 選定された患者とのコミュニケーション (4) 看護師の看護援助場面の見学 3) 学内実習 <ol style="list-style-type: none"> (1) 入院患者の身体的・心理的・社会的特徴の特徴を理論と実際を比較し考察する。 (2) 患者とのコミュニケーションから、自己のコミュニケーション能力を分析し考察する。 </p>	萩原一美 堀込由紀 長嶺めぐみ 千葉今日子 森田綾子
科目の目的	コミュニケーションをとおして看護の対象とその生活環境を理解し、看護の役割を考えることを目的とする。【対象の理解】【協調・協働】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象が療養する場としての病院の環境を説明できる。 2. 対象が療養する場での生活について説明できる。 3. 会話をとおして、看護の対象の特徴を説明できる。 4. 対象とのコミュニケーションをとおして自己を振り返り、課題に気づくことができる。 5. 実習をとおして、看護師の役割と責務及び看護の目的を説明できる。 6. 看護学生として積極的に学び、責任ある行動をとることができる。 	
関連科目	専門科目群：看護学概論Ⅰ・Ⅱ 基礎看護技術演習 コミュニケーション論 日常生活援助学演習Ⅰ・Ⅱ	
成績評価方法・基準	看護基礎実習の評価表に準じ評価する（100％）。評価にあたっては、実習の出席日数、事前学習、事後学習への取り組みを勘案して総合的に評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	実習前 1日につき 60分～120分 実習後 1日につき 60分～120分	
教科書・参考書	教科書1：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院 教科書2：系統看護学講座 専門分野 看護学概論 医学書院	
オフィス・アワー	火曜・木曜日：12：10～12：50（萩原研究室）	
国家試験出題基準	≪必修問題≫Ⅰ-1-C-e Ⅱ-9-A-a、B-b Ⅳ-13-A-a・b、15-A-a～c	

	《基礎看護学》Ⅰ-1-A-a`c、B-a`g、C-a`c Ⅱ-3-A-a・b、Ⅲ-6-A-b、6-B-a
履修条件・履修上の注意	病院実習では、実習用ユニフォーム、ナースシューズ、名札を着用すること。また、実習要項を熟読の上、積極的な姿勢で臨むこと。
実務経験のある教員による授業	
実務経験	萩原 一美（看護師）、堀込 由紀（看護師）、長嶺めぐみ（看護師）、千葉今日子（看護師）、森田 綾子（看護師）
授業の概要	療養生活支援実習及び臨床看護実習、地域・在宅看護実習の基盤の実習となるよう、従来の病院での療養者（患者）だけを対象とするのではなく、さまざまな場（環境）で生活する看護の対象を理解する。対象を理解する上で必要な、コミュニケーションの基本「聴く」「書く」「話す」を通して、自己のコミュニケーションを振り返る。

講義科目名称： 療養生活支援実習

授業コード： 4N134

英文科目名称： Nursing Practicum in Hospitalized Life Support

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
堀込 由紀			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 臨床看護基盤実習

授業コード： 4N135

英文科目名称： Fundamental Clinical Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
堀越 政孝			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 地域・在宅看護学実習

授業コード： 4N136

英文科目名称： Home and Community-based Care Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2学年	必修
担当教員	担当者		
齊藤 基			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 成人看護学実習

授業コード： 4N137

英文科目名称： Adult Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	5単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 英子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 老年看護学実習

授業コード： 4N138

英文科目名称： Gerontological Nurisng Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	3単位	必修
担当教員	担当者		
傳谷 典子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 小児看護学実習

授業コード： 4N139

英文科目名称： Child Health Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
中下 富子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 母性看護学実習

授業コード： 4N140

英文科目名称： Maternity Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
堀越 摂子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 精神看護学実習

授業コード： 4N141

英文科目名称： Psychiatric Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
西川 薫			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 統合実習

授業コード： 4N142

英文科目名称： Integrated Practice

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
萩原 一美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 公衆衛生看護学実習

授業コード： 4N143

英文科目名称： Public Health Nursing Practicum

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	5単位	選択
担当教員	担当者		
小林亜由美			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 助産学実習

授業コード： 4N144

英文科目名称： Actual practice midwifery

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	11単位	選択
担当教員	担当者		
中島久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 看護研究概説

授業コード： 4N145

英文科目名称： Introduction to Nursing Research

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
齊藤 基			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 卒業研究

授業コード： 4N146

英文科目名称： Nursing Research

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4学年	4単位	必修
担当教員	担当者		
中島久美子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		